

(5) 郷土博物館

① 施設概要

郷土博物館は、東大和市立郷土博物館条例に基づき、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置され、平成6年4月に開館しました。市立狭山緑地の一角にあり、丘陵と一体をなして、調査・研究、あわせて市民の生涯学習の場としての役割も担っていくことを目的として、直営で運営しています。

企画展示やロビー展示、プラネタリウムの投影や、自然観察会・講座の開催などの教育普及活動等を行っています。プラネタリウムの投影は、通常の季節ごとの番組の他、特別投影や学校授業の一環としての投影、保育園・幼稚園向けの投影も行っています。

表 3-42 施設の概要

常設展示室	「狭山丘陵とくらし」など4つのパートに分かれた展示
映像学習室（プラネタリム）	プラネタリウム番組を投影します
企画展示室	年に数回、テーマを決めた展示を一定期間行います
情報サービス室	東大和市・狭山丘陵などに関する図書を閲覧できます

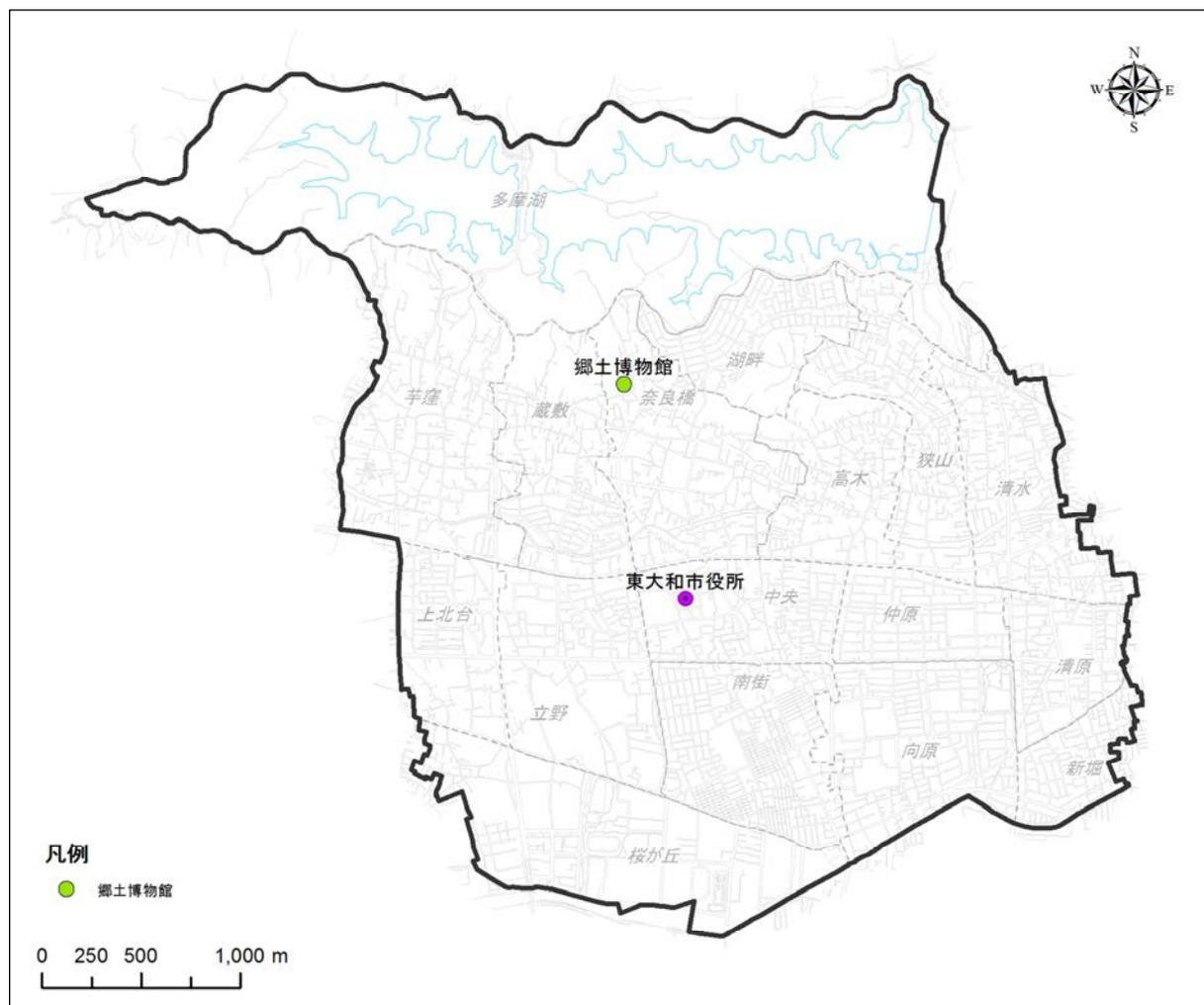


図 3-66 郷土博物館の配置

② 建物状況

郷土博物館の建物は、平成5年度に建築され、築20年以上が経過しています。

郷土博物館の事業が円滑かつ安全に実施できるよう、毎年、施設運営上必要な設備、機器の保守・点検を実施するとともに、必要な修繕・工事を行っています。平成25年度には、老朽化したプラネタリム投影機の改修工事を行いました。

表 3-43 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (m <sup>2</sup> )	所有状況	延床面積 (m <sup>2</sup> )	所有状況			
1	郷土博物館	奈良橋1-260-2	2,856	市	2,878	市	RC	1993 (H5)	施設 延床面積は付属施設(駐輪場21.96m <sup>2</sup> )を含む
	合計		2,856		2,878				

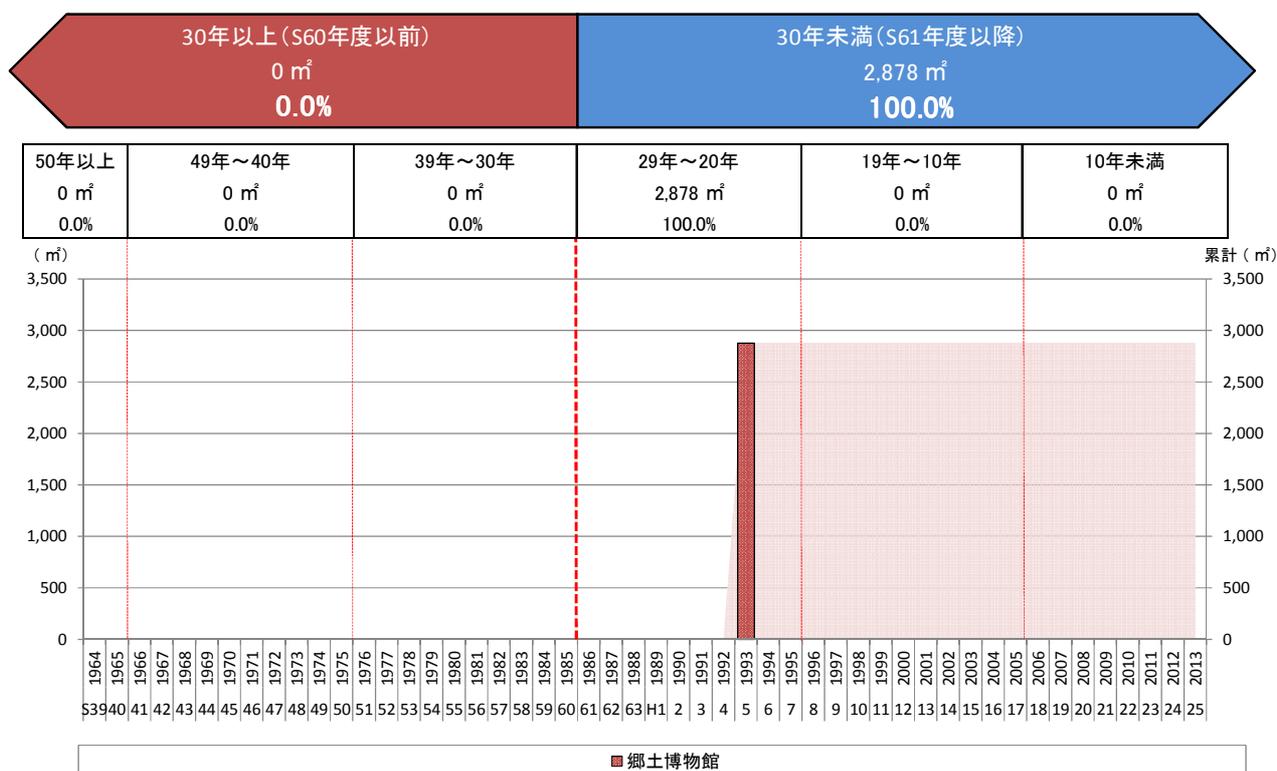


図 3-67 建築年度別の延床面積の状況(郷土博物館)

③ 利用状況

郷土博物館の年間の入館者数は47,000人前後、1日あたりにすると約160人／日前後で推移しています。プラネタリウム及び情報サービス室等の利用状況は、平成23年度から平成25年度にかけて、稼働率は53～54%でほぼ変わりません。

表 3-44 入館者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	年間入館者数(人)	開館日数(日)	1日あたり入館者数(人/日)	年間入館者数(人)	開館日数(日)	1日あたり入館者数(人/日)	年間入館者数(人)	開館日数(日)	1日あたり入館者数(人/日)
郷土博物館	46,217	296	156	47,900	297	161	47,445	299	159

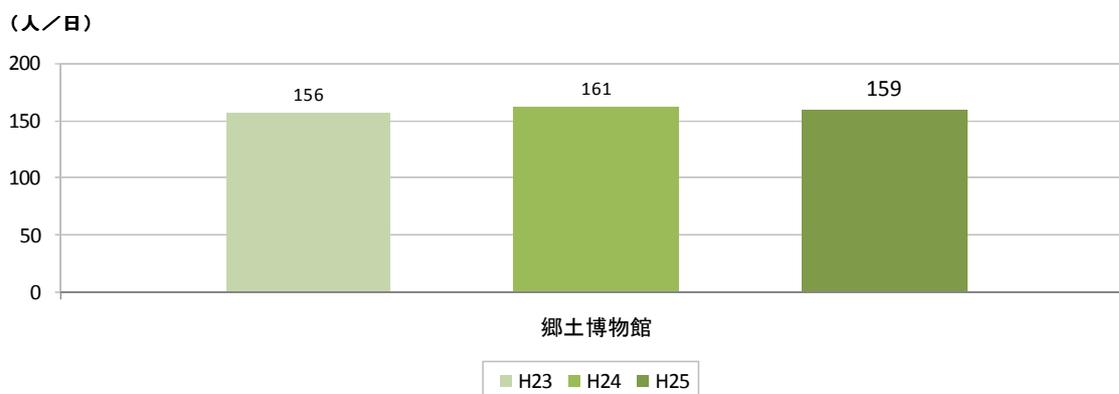


図 3-68 1日あたりの入館者数の推移

表 3-45 稼働率の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	プラネタリウム、情報サービス室等の延利用件数(コマ)	プラネタリウム、情報サービス室等の利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)	プラネタリウム、情報サービス室等の延利用件数(コマ)	プラネタリウム、情報サービス室等の利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)	プラネタリウム、情報サービス室等の延利用件数(コマ)	プラネタリウム、情報サービス室等の利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)
郷土博物館	617	1,128	54.7%	604	1,132	53.4%	502	940	53.4%

(注) 稼働率(%) = 延利用件数(コマ) ÷ 利用可能コマ数 × 100

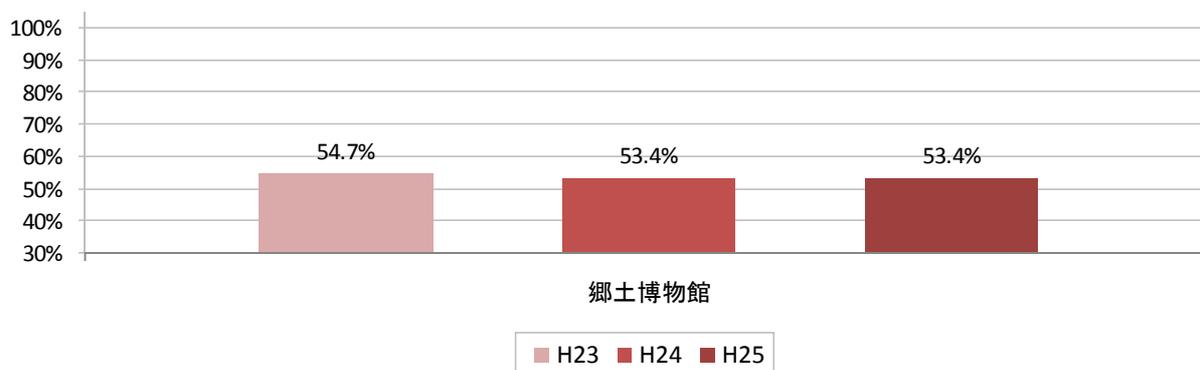


図 3-69 稼働率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

郷土博物館のコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。平成25年度には工事請負費等としてプラネタリウム投影機改修工事を行ったため、コストが増加しましたが、それ以外については同水準となります。

表 3-46 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤減価償却費	総コスト (支出+減価償却費)
			①建物維持管理費	②運営費	③指定管理委託料	④工事請負費等			
郷土博物館	H23	1,685	18,462	46,901	0	0	65,363	41,397	106,760
	H24	1,664	19,935	47,395	0	2,090	69,420	41,397	110,817
	H25	1,663	20,175	48,239	0	45,648	114,062	41,397	155,460

(百万円)

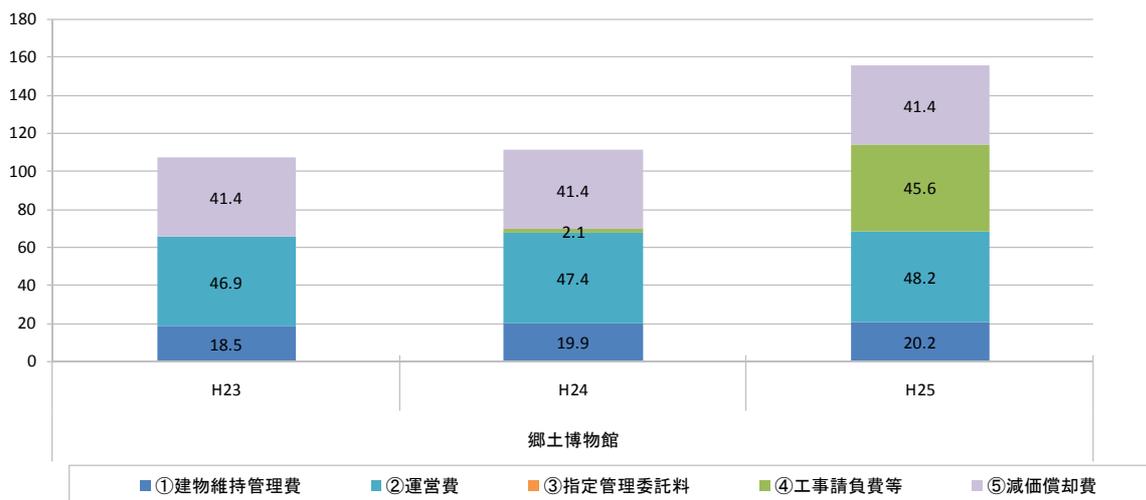


図 3-70 コストの年次推移

イ. 内訳

郷土博物館について平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約25.3%を占めています。

表 3-47 コストの内訳(H25年度)

単位(千円)

		郷土博物館	
収入	使用料等	1,663	
支出	運営経費	光熱水費	5,720
		燃料費	44
		建物維持管理費	1,856
		建物管理委託料	11,469
		使用料及び賃借料	568
		その他経費	519
		計	20,175
	運営費	事業運営費	8,982
		人件費	39,256
		計	48,239
	指定管理委託料	0	
	小計	68,414	
	資本的経費(工事請負費等)	45,648	
	支出計	114,062	
	減価償却費	41,397	
	総コスト(支出+減価償却費)	155,460	

延床面積	(㎡)	2,878	
延利用者数	(人)	47,445	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	23,768
	総コスト	(円/㎡)	54,008
一人あたり	運営経費	(円/人)	1,442
	総コスト	(円/人)	3,277

(注1)「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

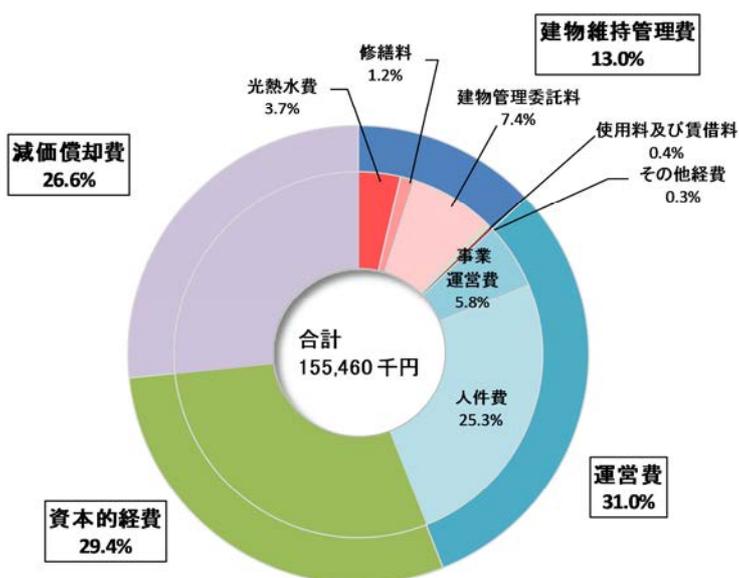


図 3-71 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

郷土博物館について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」をみると、54,008円/㎡となっています。

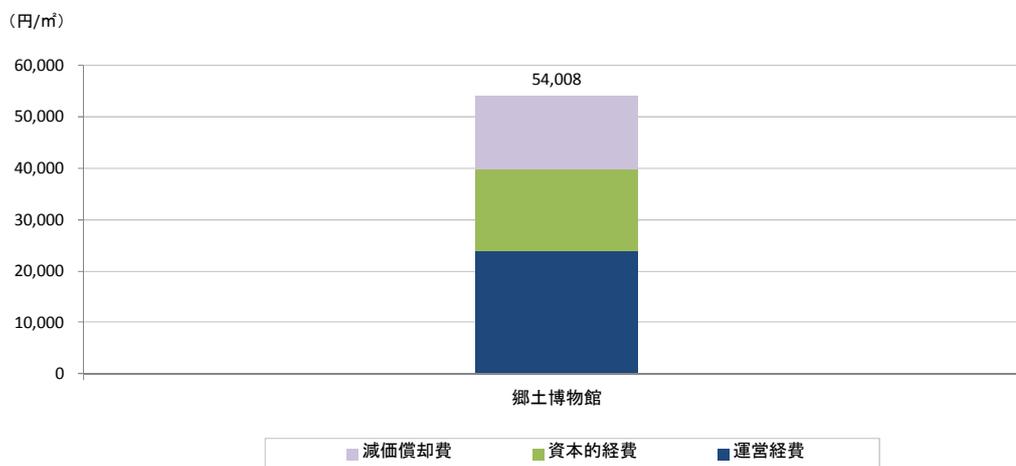


図 3-72 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

郷土博物館について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」をみると、3,277円/人となっています。

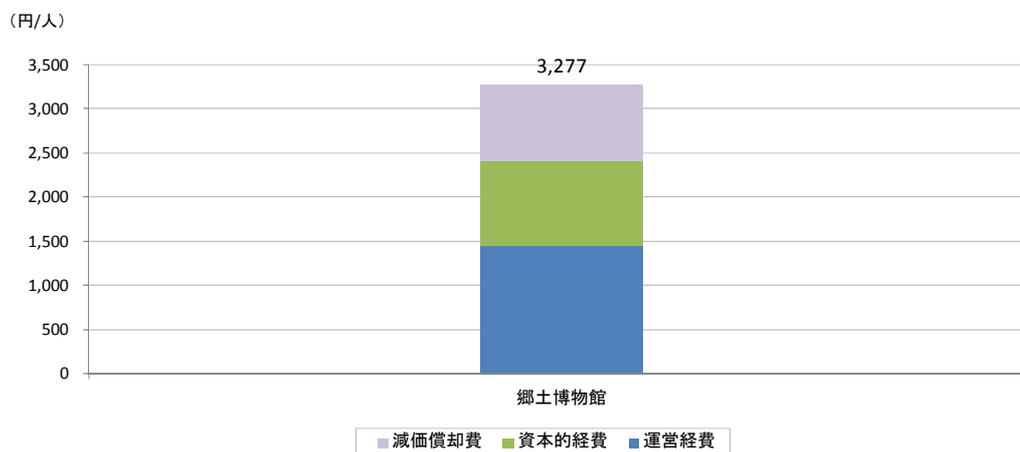


図 3-73 利用者一人あたりコスト(H25年度)

## (6) 公民館

### ① 施設概要

公民館は、社会教育法（昭和24年法律第207号）及び東大和市立公民館条例に基づき設置された教育文化施設です。市内には、中央・南街・狭山・蔵敷・上北台の5つの公民館を設置し、地域における市民の方に身近な教育機関として様々な活動を行っています。南街及び上北台公民館は市民センターに入っており、東大和市立学習等供用施設条例に基づく南街及び上北台地区会館と共用しています。

公民館の運営は直営で行っています。

公民館の施設は、自主グループや自治会、PTAなど、社会教育法の目的に沿った活動の場合、無料で使用することができます。市内に事業所を持つ企業の内部の会議、私塾の発表会、チャリティコンサート等の利用の場合は有料で使用することができます。宗教の布教活動、営利を目的とした利用はできません。また、市外の団体の利用もできません。

表 3-48 公民館の施設概要

館名	施設内容(収容人数又は畳数)	定期利用 グループ 数(H25.4)	開館日
中央公民館	ホール(422人)、視聴覚室(30人) 実習室(56人)、学習室6室(36人、18人、30人、12人、42人、12人) 和室2室(14畳、20畳)、保育室(16人)	131	昭和49年8月
南街公民館 <sup>(注)</sup>	木工室(24人)、学習室3室(60人、21人、22人)、和室(18畳)、保育室(12人)	115	昭和46年6月
狭山公民館	学習室3室(90人、30人、15人) 和室2室(21畳、12.5畳) 図書室	57	昭和51年7月
蔵敷公民館	学習室3室(90人、30人、20人) 和室(21畳)、図書室	47	昭和53年11月
上北台公民館	学習室4室(60人、40人、30人、12人) 和室(17.5畳)、保育室(12人)	57	平成5年5月

(注) 南街公民館は、昭和46年6月に東大和市立公民館として開館。その後、南街公民館と改称しました。平成5年に南街市民センター内に移転しています。

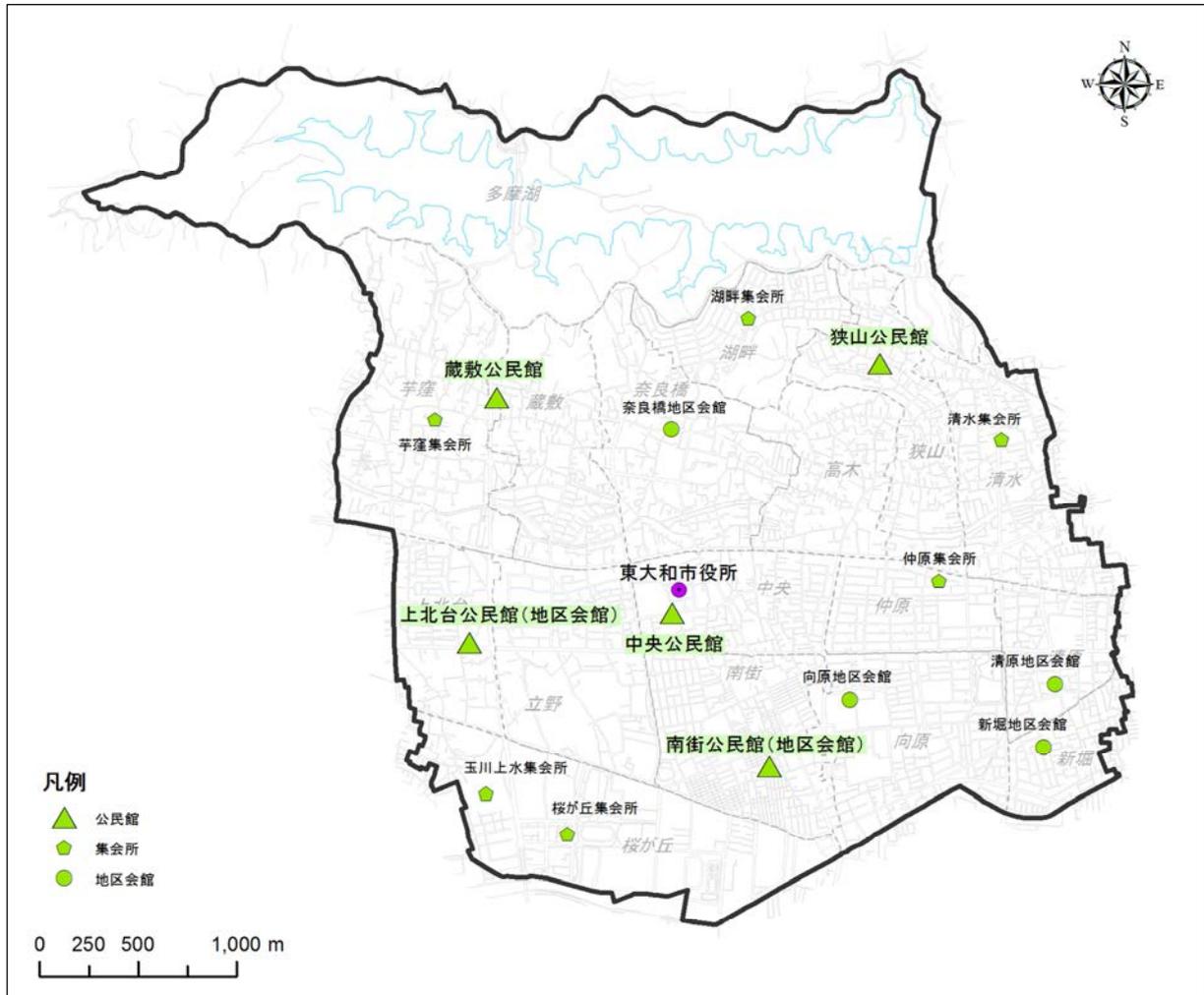


図 3-74 公民館の配置

② 建物状況

中央公民館は、延床面積 2,169 m<sup>2</sup>で公民館の中でも大規模な施設ですが、昭和 49 年度の建築物で築後 40 年以上が経過しています。また、狭山公民館（昭和 51 年度建築）、蔵敷公民館（昭和 53 年度建築）も築 30 年以上が経過しており、公民館全体の延床面積では、約 4 分の 3（75%）が 30 年以上の建物となります。

表 3-49 建物概要(H25 年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (m <sup>2</sup> )	所有状況	延床面積 (m <sup>2</sup> )	所有状況			
1	中央公民館	中央3-926	3,176	市	2,169	市	RC	1974 (S49)	
2	南街公民館	南街5-32	1,642	市	540	市	RC	1992 (H4)	南街市民センター内
3	狭山公民館	狭山3-1334-1	1,653	民間	598	市	RC	1976 (S51)	
4	蔵敷公民館	蔵敷2-337	2,129	市	565	市	RC	1978 (S53)	
5	上北台公民館	上北台2-865-9	1,199	市、民間	572	市	RC	1992 (H4)	上北台市民センター内
合計			9,798		4,444				

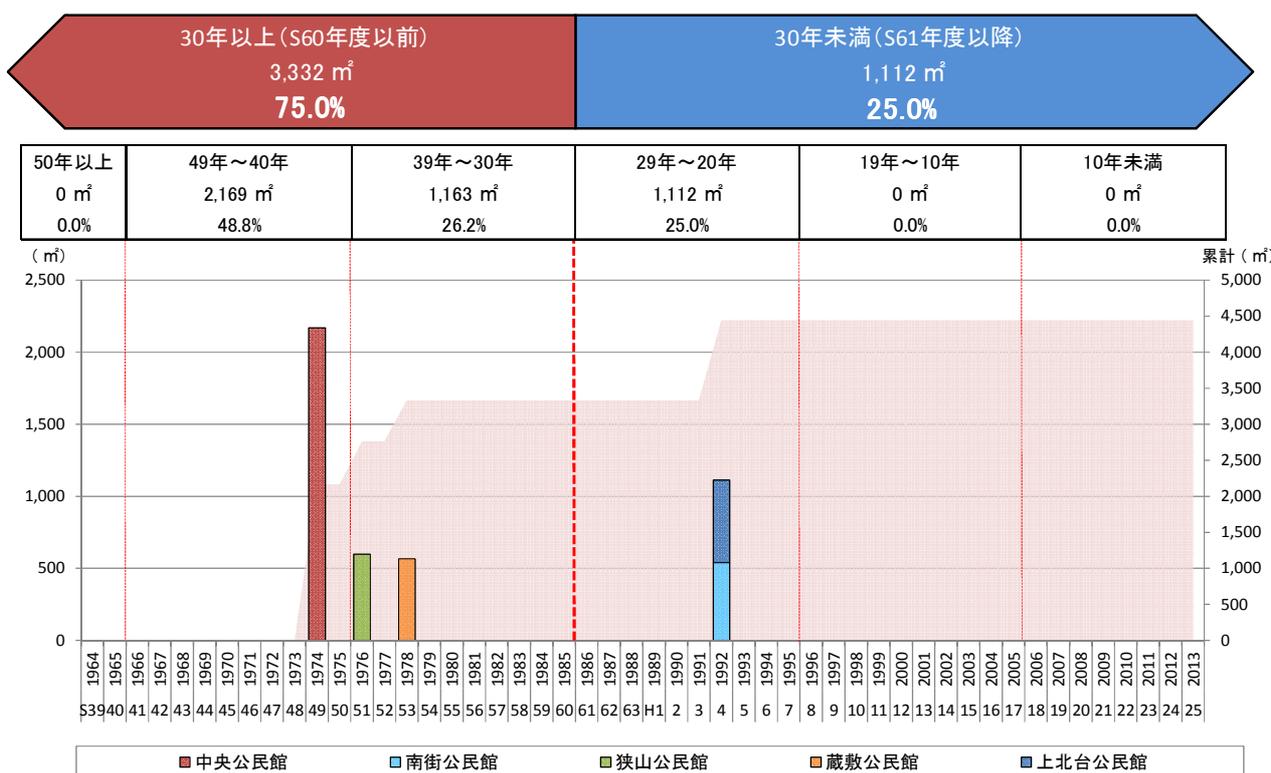


図 3-75 建築年度別の延床面積の状況(公民館)

③ 利用状況

公民館の利用者数は中央公民館が最も多く、平成25年度の年間約10.4万人（1日あたり341人/日）になります。公民館全体の利用者数推移は、平成23年度から25年度にかけて減少しています。施設の稼働率では、南街公民館が最も高く72%（平成25年度）になります。

表 3-50 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数(人)	開館日数	1日あたり利用者数(人/日)	延利用者数(人)	開館日数	1日あたり利用者数(人/日)	延利用者数(人)	開館日数	1日あたり利用者数(人/日)
中央公民館	110,102	276	399	109,515	307	357	103,970	305	341
南街公民館	37,245	305	122	36,081	305	118	34,980	302	116
狭山公民館	21,443	305	70	21,954	305	72	21,819	302	72
蔵敷公民館	23,160	305	76	25,977	305	85	23,700	302	78
上北台公民館	26,001	305	85	27,611	305	91	27,555	302	91

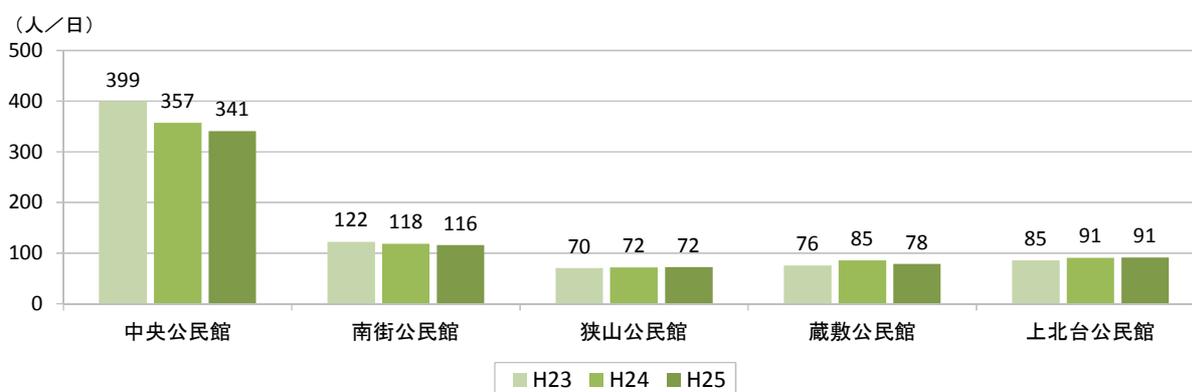


図 3-76 1日あたりの利用者数の推移

表 3-51 稼働率の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用コマ数(コマ)	利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)	延利用コマ数(コマ)	年間利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)	延利用コマ数(コマ)	年間利用可能コマ数(コマ)	稼働率(%)
中央公民館	6,026	9,108	66.2%	6,490	10,131	64.1%	6,351	10,065	63.1%
南街公民館	3,382	4,575	73.9%	3,279	4,575	71.7%	3,268	4,530	72.1%
狭山公民館	2,312	4,575	50.5%	2,302	4,575	50.3%	2,364	4,530	52.2%
蔵敷公民館	2,291	3,660	62.6%	2,469	3,660	67.5%	2,303	3,660	63.6%
上北台公民館	2,500	4,575	54.6%	2,664	4,575	58.2%	2,653	4,530	58.6%

(注) 稼働率(%) = 延利用コマ数 ÷ 利用可能コマ数 × 100

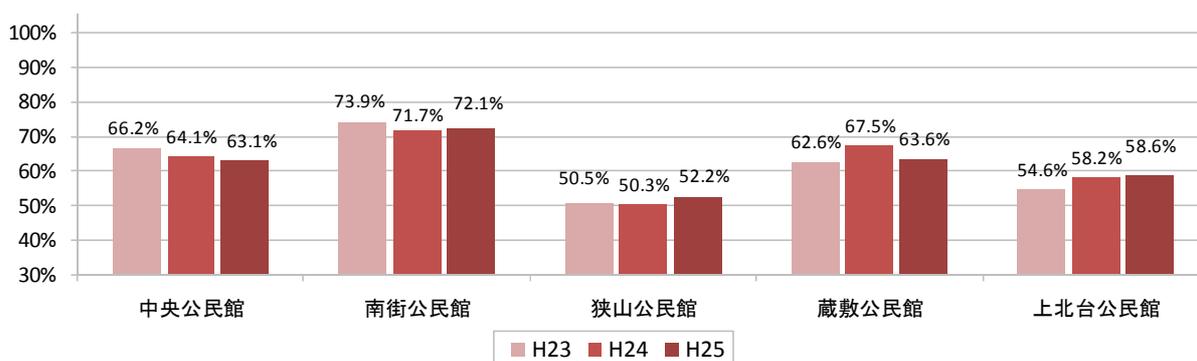


図 3-77 稼働率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

公民館の管理・運営にかかるコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。中央公民館は、平成23年度に空調設備改修工事、平成25年度に耐震補強工事設計、エレベータ更新工事などの施設整備を行っており、工事請負費等が発生していますが、建物維持管理費や運営費も金額が大きく、他の公民館より規模の大きな施設として運営しています。狭山公民館は、建物維持管理費として土地の賃借料が発生しています。

表 3-52 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
中央公民館	H23	697	18,020	51,889	0	43,432	113,341	8,633	121,974
	H24	771	20,947	52,108	0	88	73,144	8,633	81,776
	H25	575	18,193	51,592	0	26,607	96,392	8,633	105,025
南街公民館	H23	227	0	19,335	0	0	19,335	0	19,335
	H24	241	0	19,255	0	0	19,255	0	19,255
	H25	179	0	19,303	0	0	19,303	0	19,303
狭山公民館	H23	125	10,367	21,136	0	0	31,503	3,873	35,376
	H24	135	13,557	21,349	0	0	34,907	3,873	38,780
	H25	116	10,650	21,327	0	0	31,977	3,873	35,850
蔵敷公民館	H23	100	4,843	21,209	0	0	26,053	2,589	28,642
	H24	132	5,265	21,061	0	0	26,327	2,589	28,916
	H25	120	5,428	21,208	0	2,058	28,694	2,589	31,283
上北台公民館	H23	135	0	19,280	0	0	19,280	0	19,280
	H24	112	0	19,510	0	0	19,510	0	19,510
	H25	72	0	19,452	0	0	19,452	0	19,452

(注) 南街公民館、上北台公民館の建物維持管理費、減価償却費は、各公民館が入っている市民センターの経費に含み、ここでは計上していません。

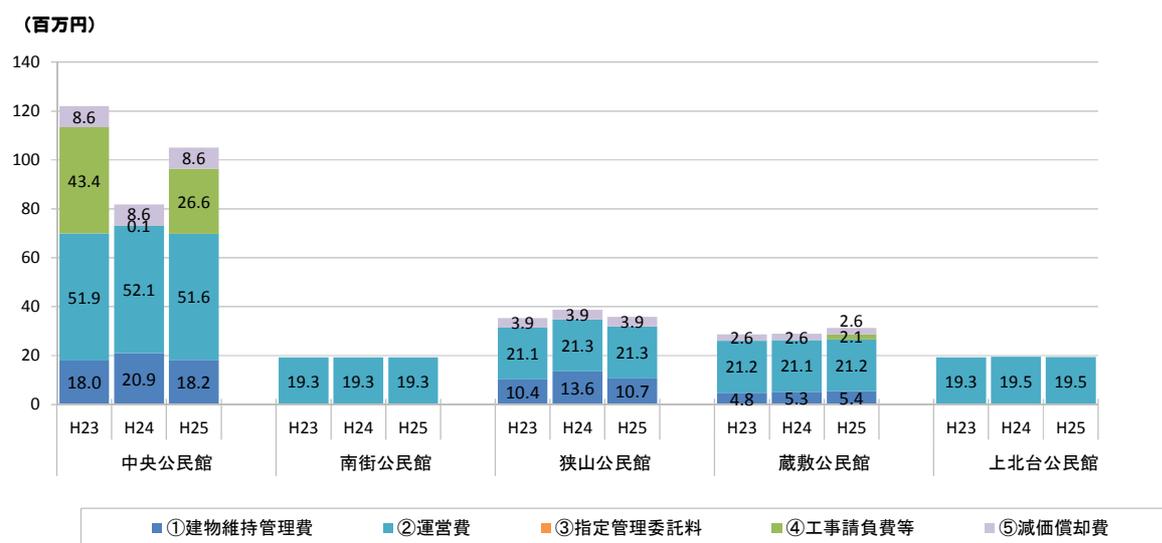


図 3-78 コストの年次推移

イ. 内訳

公民館のコストについて平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約56.3%を占めています。

表 3-53 コストの内訳(H25年度)

		単位(千円)							
		中央公民館	南街公民館	狭山公民館	葦敷公民館	上北台公民館	合計		
収入	使用料等	575	179	116	120	72	1,063		
支出	運営経費	建物維持管理費	光熱水費	5,832	0	1,623	1,406	0	8,861
			燃料費	0	0	0	362	0	362
			修繕料	1,019	0	272	260	0	1,551
			建物管理委託料	11,287	0	3,061	3,347	0	17,695
			使用料及び賃借料	22	0	5,646	9	0	5,677
			その他経費	33	0	49	44	0	126
			計	18,193	0	10,650	5,428	0	34,271
	運営費	事業運営費	5,529	1,083	3,177	3,116	1,164	14,070	
		人件費	46,063	18,220	18,149	18,092	18,288	118,812	
		計	51,592	19,303	21,327	21,208	19,452	132,882	
	指定管理委託料	0	0	0	0	0	0		
	小計	69,785	19,303	31,977	26,636	19,452	167,153		
	資本的経費(工事請負費等)	26,607	0	0	2,058	0	28,665		
	支出計	96,392	19,303	31,977	28,694	19,452	195,818		
	減価償却費	8,633	0	3,873	2,589	0	15,095		
	総コスト(支出+減価償却費)	105,025	19,303	35,850	31,283	19,452	210,913		

延床面積	(㎡)	2,169	540	598	565	572	4,444	
年間利用者数	(人)	103,970	34,980	21,819	23,700	27,555	212,024	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	32,172	35,745	53,507	47,110	34,016	37,613
	総コスト	(円/㎡)	48,418	35,745	59,989	55,329	34,016	47,460
一人あたり	運営経費	(円/人)	671	552	1,466	1,124	706	788
	総コスト	(円/人)	1,010	552	1,643	1,320	706	995

(注1) 南街公民館、上北台公民館の建物維持管理費、減価償却費は、各公民館が入っている市民センターの経費に含み、ここでは計上していません。

(注2) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

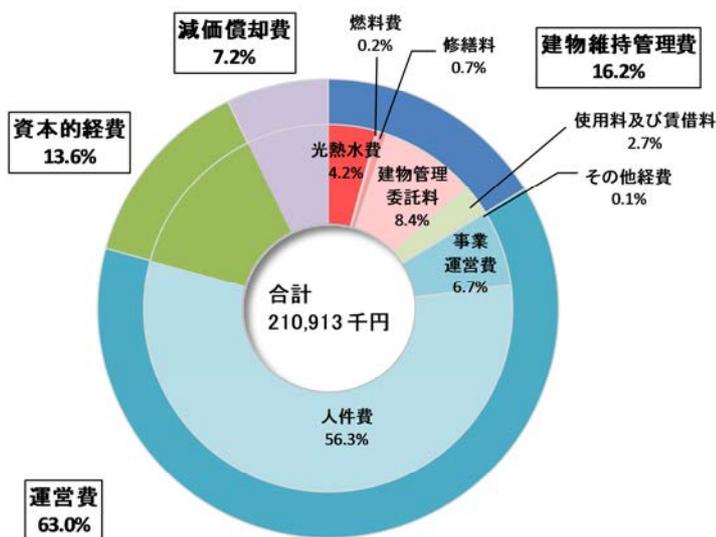


図 3-79 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

公民館の平成25年度における「延床面積あたりの総コスト(円/㎡)」を比較すると、概ね35,000円/㎡～60,000円/㎡の水準になっています。

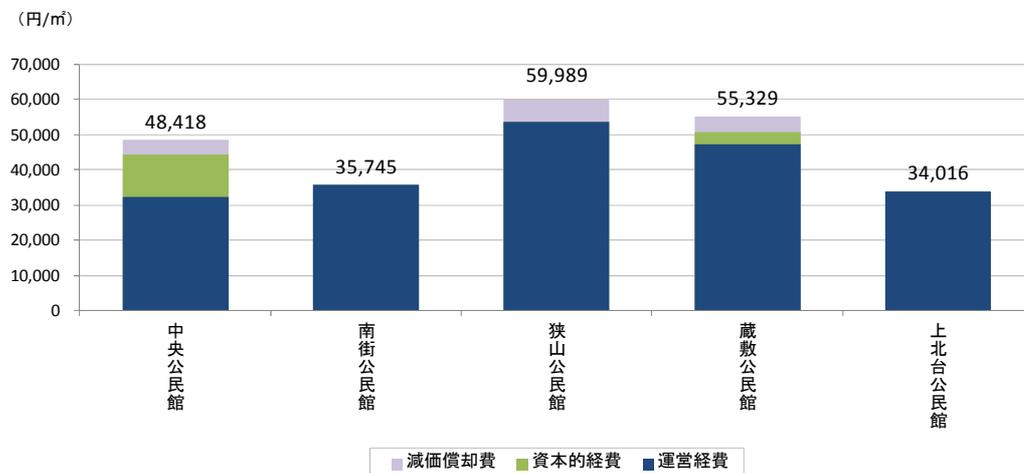


図 3-80 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

公民館について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト(円/人)」を比較すると、概ね500円/人～1,600円/人の水準になっています。

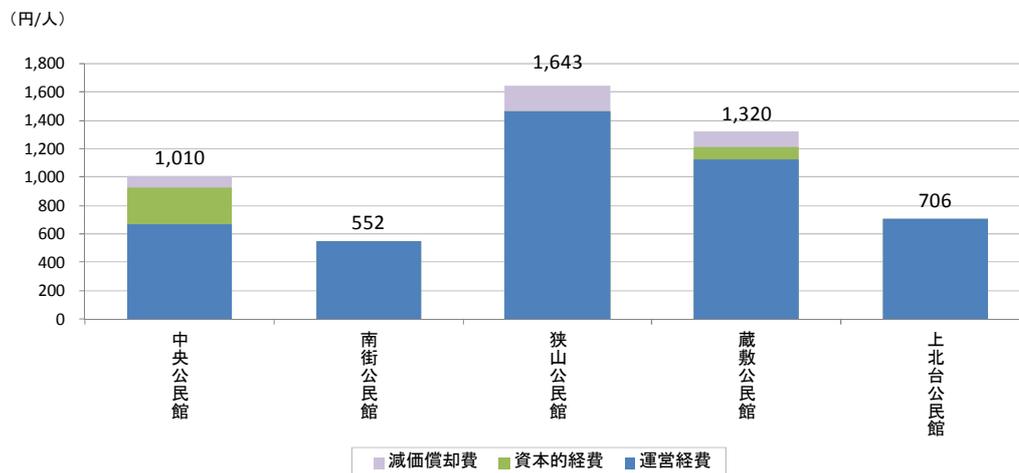


図 3-81 利用者一人あたりコスト(H25年度)

## 第4項 スポーツレクリエーション施設

### (1) 上仲原公園運動施設

#### ① 施設概要

上仲原公園運動施設は、東部土地区画整理事業で整備され、昭和56年4月に開設した、約4ヘクタールの広さをもつ上仲原公園内に整備された運動施設です。東大和市体育施設等に関する条例に基づき、体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するために設置しています。

上仲原公園野球場（陸上競技場を含む）、上仲原公園テニスコートを設置しています。

上仲原公園野球場（陸上競技場を含む）、上仲原公園テニスコート、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場の5施設は、平成22年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。

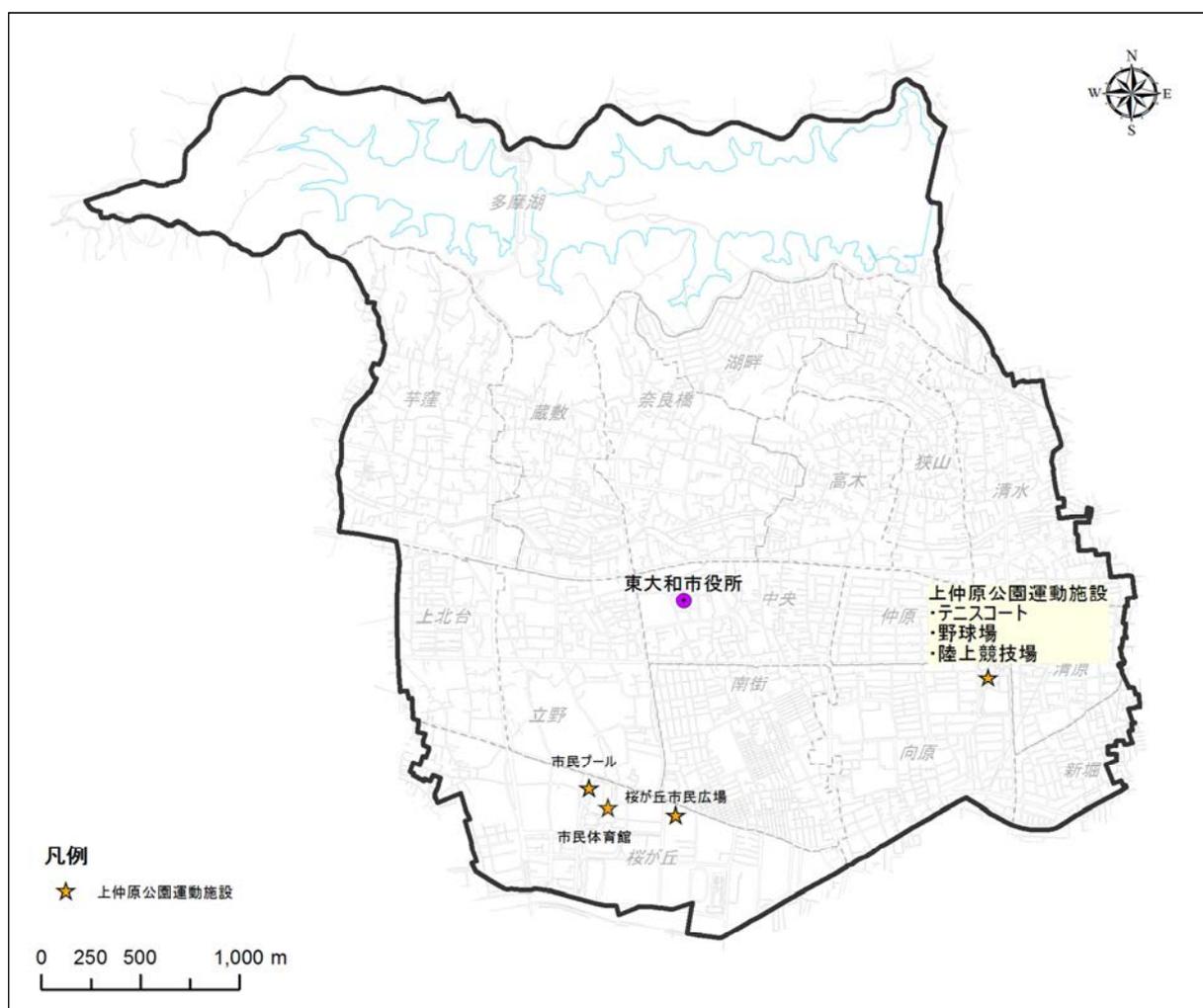


図 3-82 上仲原公園運動施設の配置

② 建物状況

上仲原公園運動施設の建物（公園管理棟）は、昭和56年度に建築されており、平成27年度時点で建築から30年以上が経過しています。

表 3-54 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (㎡)	所有状況	延床面積 (㎡)	所有状況			
1	上仲原公園運動施設	向原1-1	43,306	市、民間	-	-	-	-	テニスコート、野球場・陸上競技場
2	上仲原公園管理棟				233	市	RC	1981 (S56)	公園管理棟(トイレ)の面積を含む、備蓄庫の面積(32㎡)を除く
合計			43,306		233				

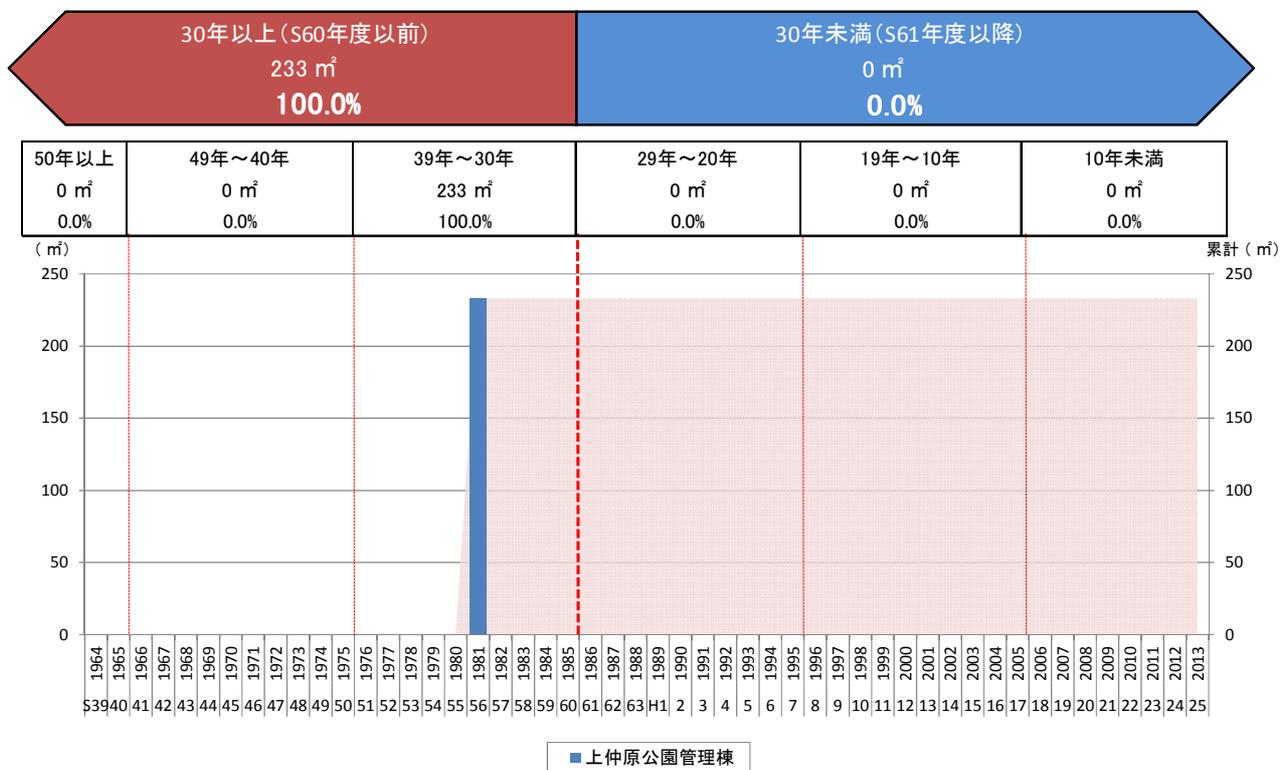


図 3-83 建築年度別の延床面積の状況(運動施設)

③ 利用状況

上仲原公園テニスコートは、平成25年度に改修工事を行ったため、平成25年度の利用件数は平成23年度及び平成24年度に比べて少なくなっています。開催日数に応じた1日あたりの利用件数では、テニスコートは約17件、野球場（陸上競技場を含む）は約3件で、平成25年度の稼働率で見るとそれぞれ61%、41%となっています。

表 3-55 利用件数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用 件数 (件)	開催日数 (日)	1日あたり 利用件数 (件/日)	延利用 件数 (件)	開催日数 (日)	1日あたり 利用件数 (件/日)	延利用 件数 (件)	開催日数 (日)	1日あたり 利用件数 (件/日)
上仲原公園テニスコート	6,222	358	17.4	6,226	357	17.4	4,746	286	16.6
上仲原公園野球場 (陸上競技場を含む)	752	302	2.5	835	302	2.8	796	302	2.6

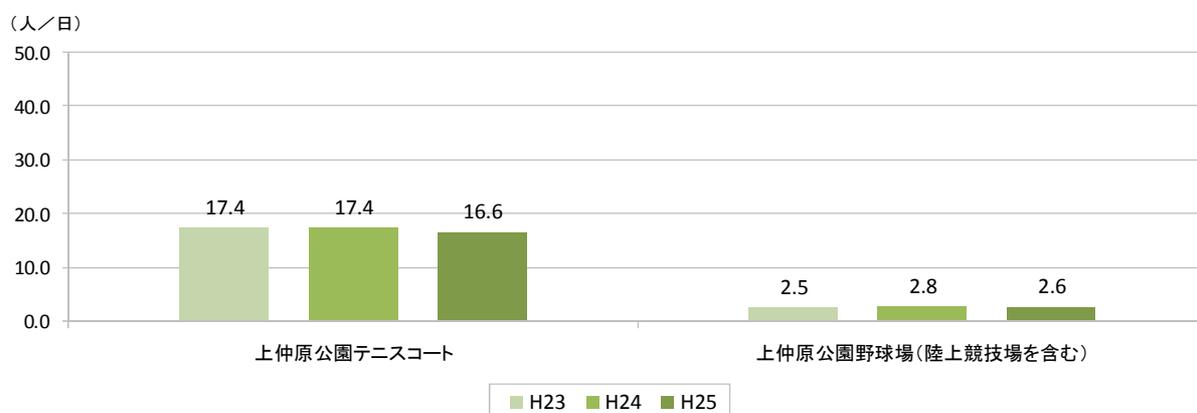


図 3-84 1日あたりの利用件数の推移

表 3-56 稼働率の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用 コマ数 (コマ)	利用可能 コマ数 (コマ)	稼働率 (%)	延利用 コマ数 (コマ)	利用可能 コマ数 (コマ)	稼働率 (%)	延利用 コマ数 (コマ)	利用可能 コマ数 (コマ)	稼働率 (%)
上仲原公園テニスコート	6,222	9,418	66.1%	6,226	9,424	66.1%	4,746	7,720	61.5%
上仲原公園野球場 (陸上競技場を含む)	752	1,912	39.3%	835	1,933	43.2%	796	1,938	41.1%

(注) 稼働率 (%) = 延利用コマ数 ÷ 利用可能コマ数 × 100

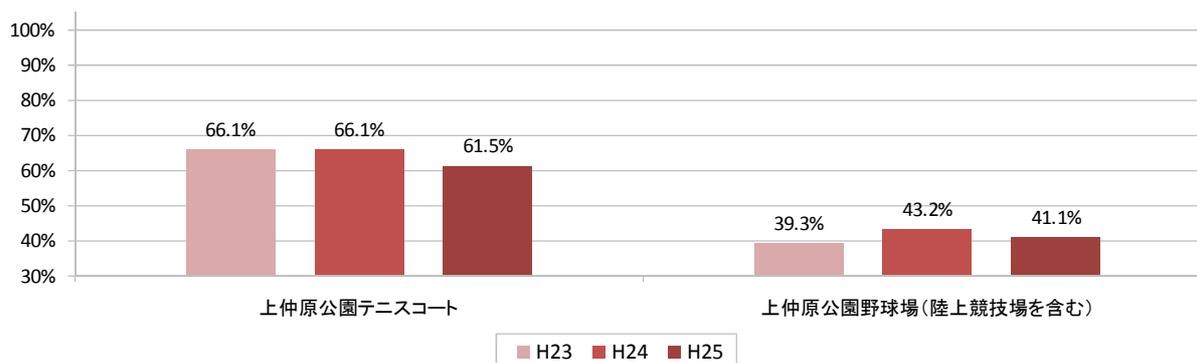


図 3-85 稼働率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

上仲原公園運動施設（上仲原公園管理棟含む）では、平成25年度の工事請負費等に上仲原公園テニスコート改修工事費を約2,400万円計上しました。

表 3-57 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費 等			
上仲原公園運動施設 (テニスコート、野球場・ 陸上競技場)	H23	0	0	0	0	0	0	0	
	H24	0	0	0	0	0	0	0	
	H25	0	0	0	24,140	24,140	0	24,140	
上仲原公園管理棟	H23	0	0	0	0	0	1,392	1,392	
	H24	0	0	0	0	0	1,392	1,392	
	H25	0	0	0	0	0	1,392	1,392	

(注1) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。

(注2) 上仲原公園管理棟（トイレ）にかかる支出、テニスコート及び野球場・陸上競技場の減価償却費はここでは計上していません。

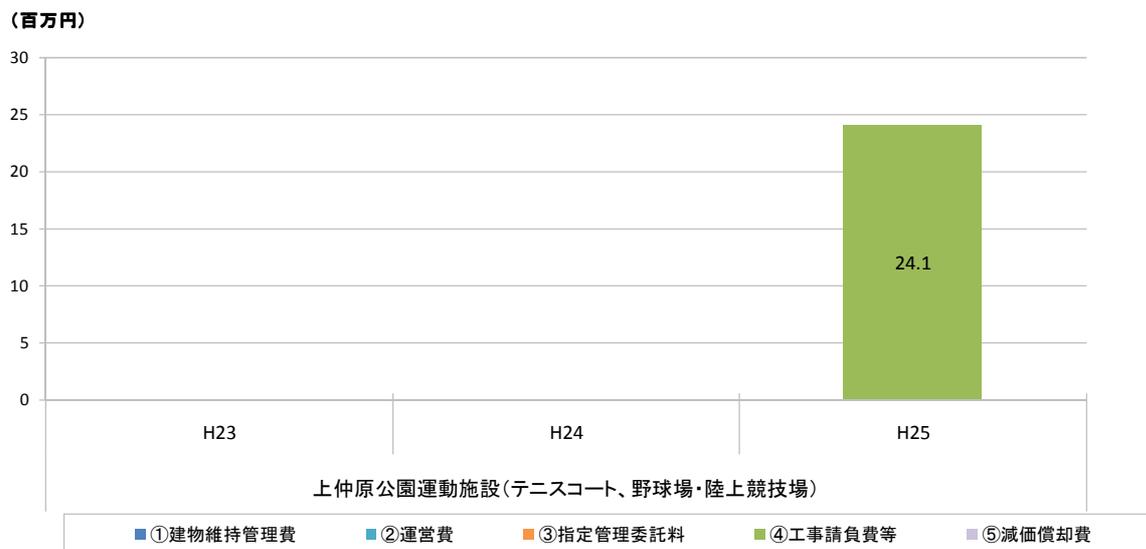


図 3-86 コストの年次推移

イ. 内訳

上仲原公園運動施設の総コストの内訳をみると、資本的経費（工事請負費等）がそのほとんどを占めます。

表 3-58 コストの内訳(H25 年度)

			単位(千円)			
			上仲原公園運動施設 (テニスコート、 野球場・陸上競技場)	上仲原公園管理棟	合計	
収入			0	0	0	
支出	運営 経費	使用料等	0	0	0	
		光熱水費	0	0	0	
		燃料費	0	0	0	
		建物維持管理 費	修繕料	0	0	0
			建物管理委託料	0	0	0
			使用料及び賃借料	0	0	0
			その他経費	0	0	0
			計	0	0	0
		運営費	事業運営費	0	0	0
			人件費	0	0	0
			計	0	0	0
			指定管理委託料	0	0	0
		小計			0	0
資本的経費(工事請負費等)			24,140	0	24,140	
支出計			24,140	0	24,140	
減価償却費			0	1,392	1,392	
総コスト(支出+減価償却費)			24,140	1,392	25,532	
延床面積			(㎡)	233	233	
延利用件数			(件)	5,542	5,542	
面積 あたり	運営経費	(円/㎡)	-	0	0	
	総コスト	(円/㎡)	-	5,970	109,485	
一件 あたり	運営経費	(円/件)	0	-	-	
	総コスト	(円/件)	4,356	-	4,607	

- (注1) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。
- (注2) 上仲原公園管理棟（トイレ）にかかる支出、テニスコート及び野球場・陸上競技場の減価償却費はここでは計上していません。
- (注3) 「面積あたりの運営経費及び総コスト（円/㎡）」、「一人あたりの運営経費及び総コスト（円/人）」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値（千円単位）を使用した場合は1円～100円程度の差があります。

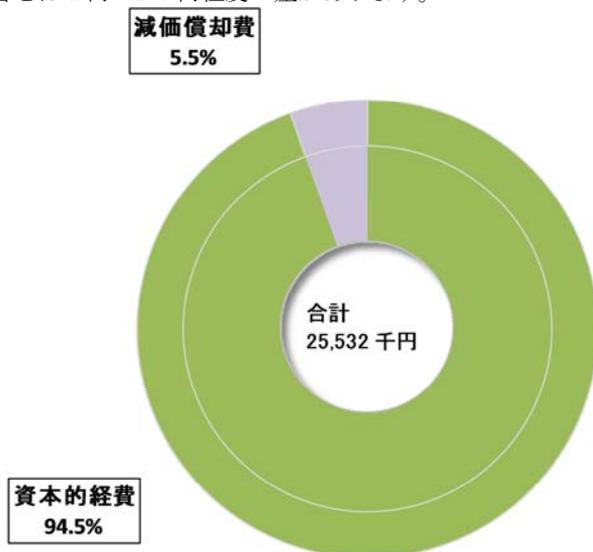


図 3-87 コストの内訳(H25 年度)

### ウ. 利用1件あたりコスト

上仲原公園運動施設（テニスコート、野球場・運動場）の利用1件あたりの総コストは、平成25年度は4,356円/件となりました。運営経費としての指定管理委託料は市民体育館に計上しているためここでは含んでいません。

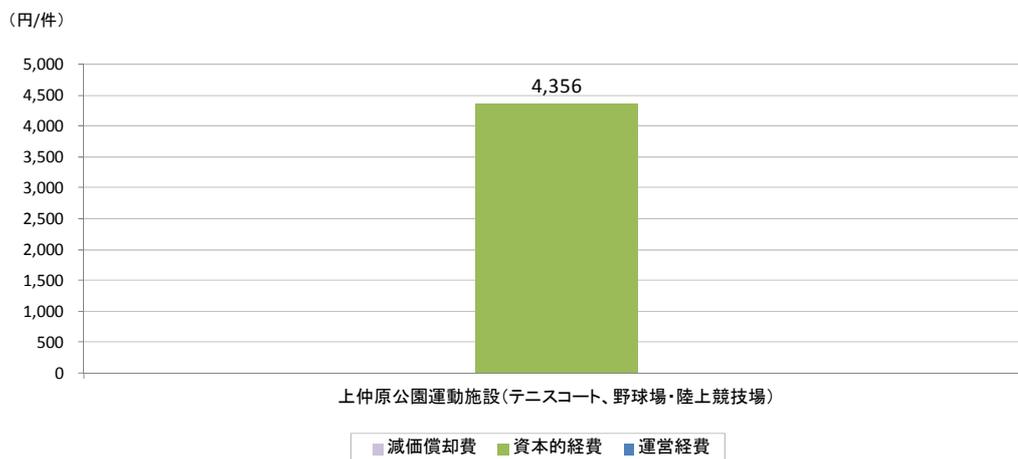


図 3-88 利用1件あたりコスト(H25年度)

(2) 市民プール

① 施設概要

市民プールは東大和市体育施設等に関する条例に基づき、体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するために設置しています。開設日は、昭和59年8月1日です。

毎年7月中旬から8月末にかけて開催しています。大人も子どもも楽しめるよう、幼児用・流水・スライダー・25メートルの4種類のプールがあります。

市民プール、市民体育館、桜が丘市民広場、上仲原公園野球場（陸上競技場を含む）、上仲原公園テニスコートの5施設は、平成22年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。

表 3-59 設置プール

	長さ、または全長	幅	水深	水面積
流水プール	141.62メートル	7.27メートル	1.00メートル	1030.04平方メートル
25メートルプール	25.00メートル	17.50メートル	1.0メートル～1.2メートル	437.50平方メートル
幼児プール	-	-	0.2メートル～0.4メートル	153.59平方メートル
スライダープール	-	-	0.6メートル	55.46平方メートル
スライダー(2連)	20.00メートル	5メートル(高さ)	-	-

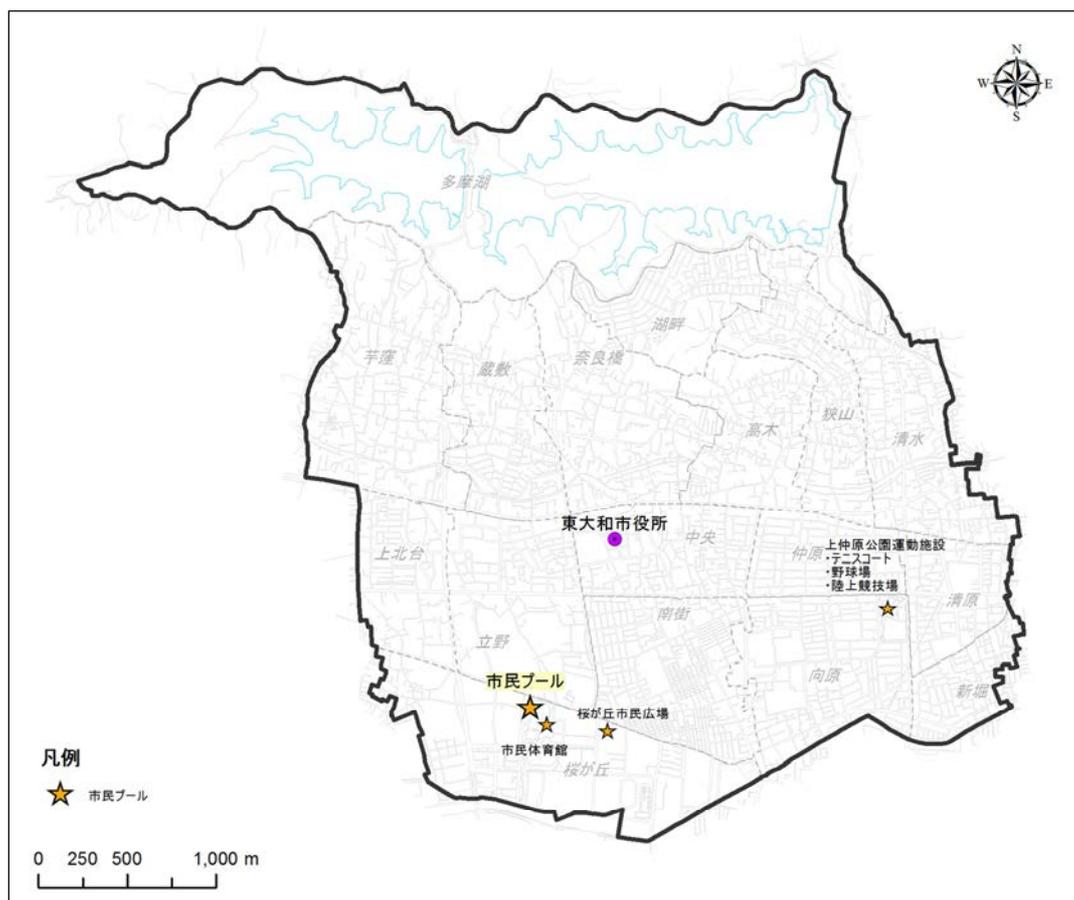


図 3-89 市民プールの配置

② 建物状況

市民プールの建物部分（更衣室棟）は平成27年度時点で建築から31年が経過しています。

表 3-60 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (㎡)	所有状況	延床面積 (㎡)	所有状況			
1	市民プール(更衣室棟)	桜が丘2-167-13	259	都	499	市	RC	1984(S59)	延床面積、敷地面積は更衣室棟のみの面積。
	合計		259		499				

(注) ロッカー（更衣室）：一般用1,080人分、身障者用30人分

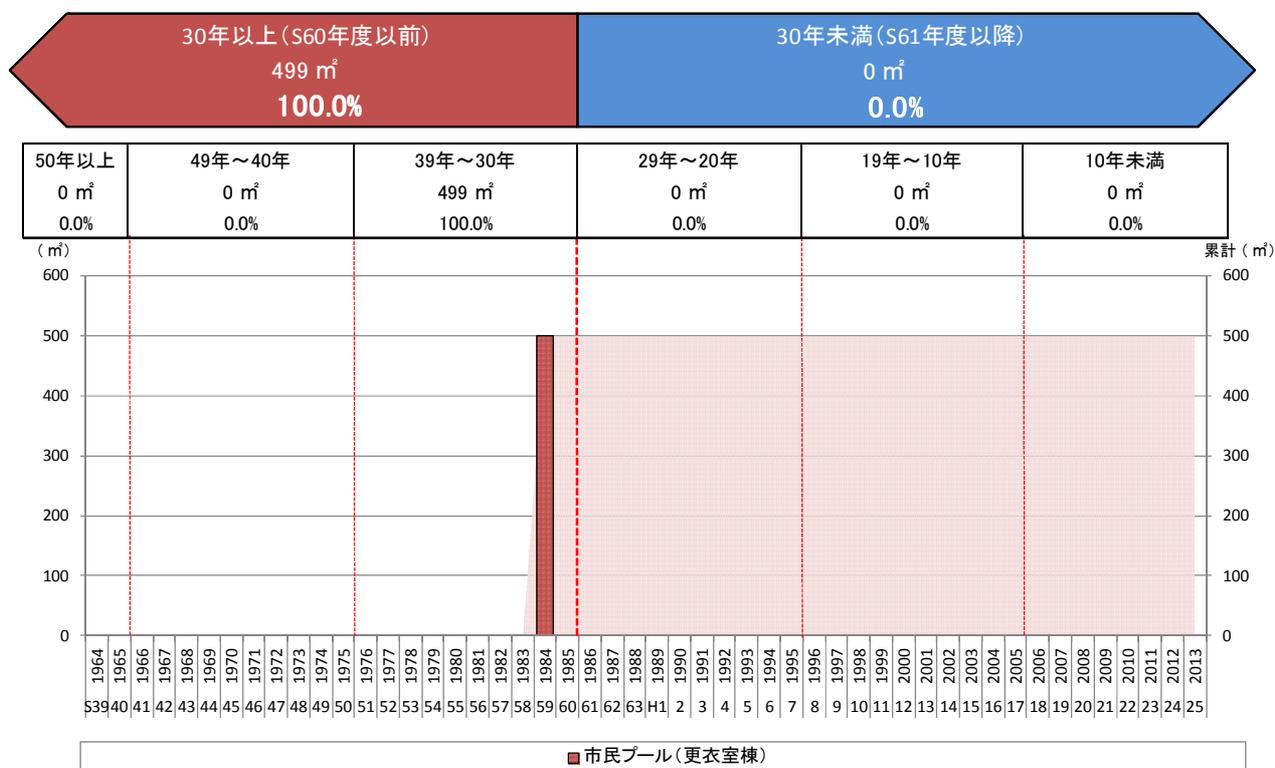


図 3-90 建築年度別の延床面積の状況(市民プール)

③ 利用状況

市民プールは毎年7月中旬から8月末にかけて開催しています。

平成23年度の利用者数は43,060人でしたが、平成24年度及び平成25年度には5万人を超える利用に増加しました。

開催日数に対応した1日あたりの利用者数では平成23年度には828人でしたが、平成24年度には1,085人、平成25年度には1,034人となっています。

市民プールは屋外プールであるため、天候によっても利用者数は大きく増減します。

表 3-61 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数(人)	開催日数(日)	1日あたり利用者数(人/日)	延利用者数(人)	開催日数(日)	1日あたり利用者数(人/日)	延利用者数(人)	開催日数(日)	1日あたり利用者数(人/日)
市民プール	43,060	52	828	53,182	49	1,085	52,736	51	1,034

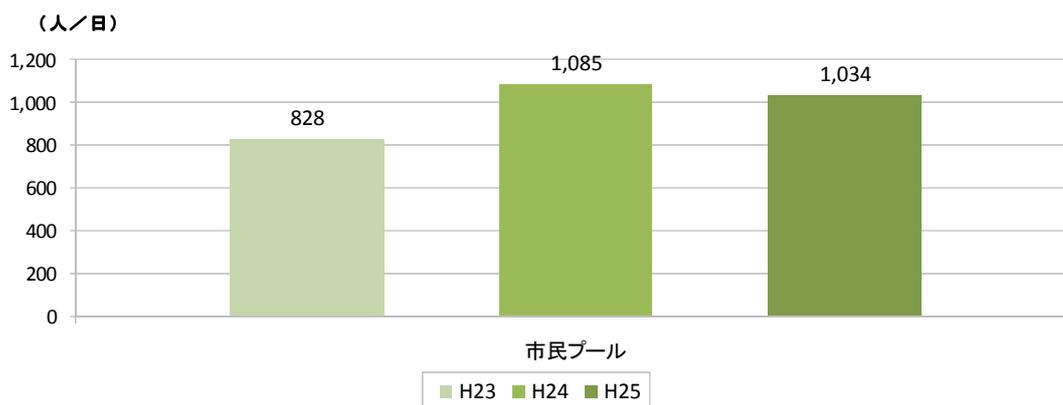


図 3-91 1日あたりの利用者数の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

市民プールのコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。減価償却費は建物部分（更衣室棟）のみを計上しています。平成25年度には、市民プール歩道橋の老朽化に伴い、歩道橋の補強等の改修を行い、工事請負費等として支出しています。なお、運営費としての指定管理委託料は市民体育館に計上しているためここでは含んでいません。

表 3-62 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
市民プール	H23	0	0	0	0	866	866	10,673	11,539
	H24	0	0	0	0	0	0	10,673	10,673
	H25	0	0	0	0	3,476	3,476	10,673	14,148

単位(千円)

(注) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。

(百万円)

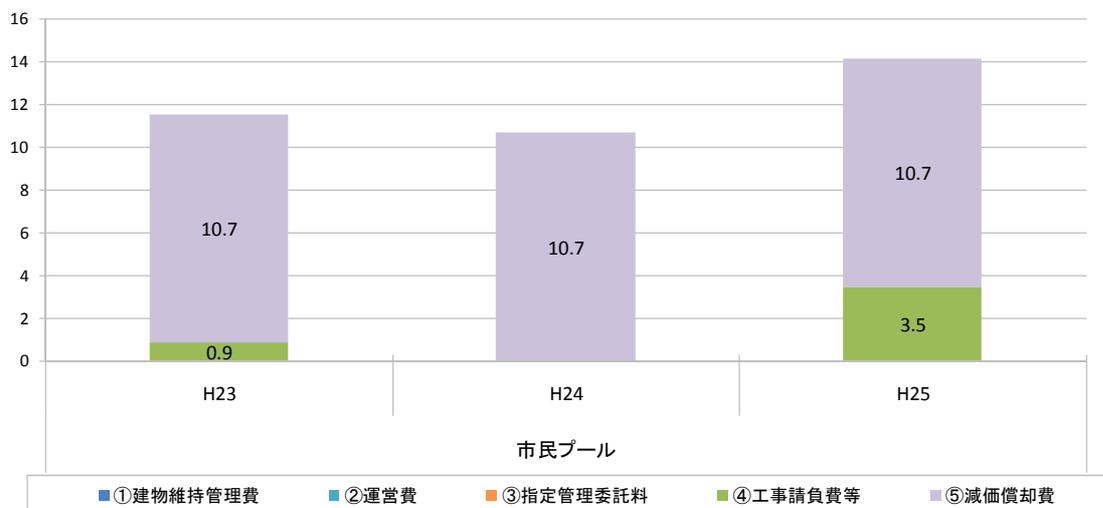


図 3-92 コストの年次推移

イ. 内訳

市民プールについて平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は資本的経費（工事請負費等）及び減価償却費です（減価償却費は建物部分のみを計上しています）。運営経費としての指定管理委託料は市民体育館に計上しているためここでは含んでいません。

表 3-63 コストの内訳(H25年度)

			単位(千円)
			市民プール
収入		使用料等	0
支出	運営経費	建物維持管理費	0
		光熱水費	0
		燃料費	0
		修繕料	0
		建物管理委託料	0
		使用料及び賃借料	0
		その他経費	0
		計	0
		運営費	0
		事業運営費	0
		人件費	0
	計	0	
	指定管理委託料	0	
	小計	0	
	資本的経費(工事請負費等)	3,476	
	支出計	3,476	
	減価償却費	10,673	
	総コスト(支出+減価償却費)	14,148	

延床面積	(㎡)	499	
延利用者数	(人)	52,736	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	0
	総コスト	(円/㎡)	28,335
一人あたり	運営経費	(円/人)	0
	総コスト	(円/人)	268

(注1) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。

(注2) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

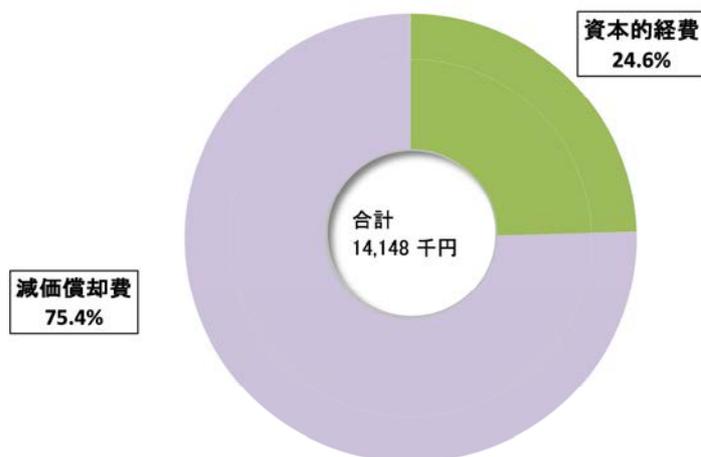


図 3-93 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

市民プールについて平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」をみると、28,335円/㎡となっています。市民プールの建物部分（プール本体を除く）の床面積のみを基に算出しています。運営経費としての指定管理委託料は市民体育館に計上しているためここでは含んでいません。

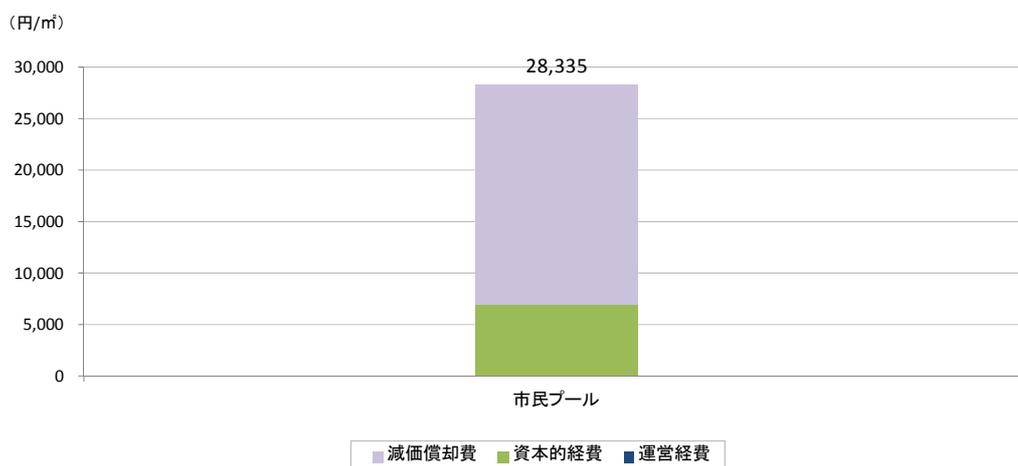


図 3-94 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

市民プールについて平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」をみると、268円/人となっています。運営経費としての指定管理委託料は市民体育館に計上しているためここでは含んでいません。

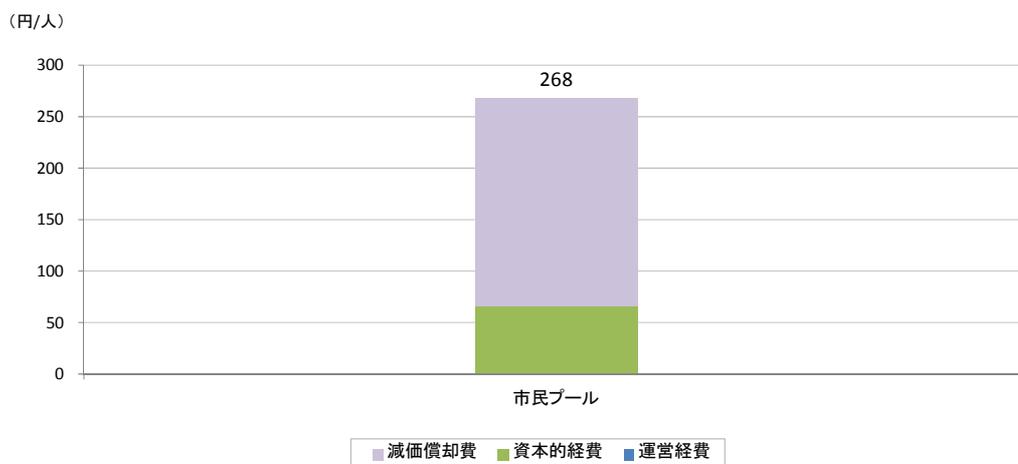


図 3-95 利用者一人あたりコスト(H25年度)

(3) 市民体育館

① 施設概要

市民体育館は東大和市体育施設等に関する条例に基づき、体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するために設置しています。

第1体育室、第2体育室、第3体育室、トレーニング室、ランニング走路、保育室があります。

市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園野球場（陸上競技場を含む）、上仲原公園テニスコートの5施設は、平成22年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。

表 3-64 施設内容

施設	面積	用途
第1体育室	1,391.51㎡	バレーボール2面、バスケットボール2面、バドミントン6面、卓球12台、その他
第2体育室	458.38㎡	A面(畳):柔道、合気道等/B面(床):剣道、空手等
第3体育室	320.22㎡	軽体操等、卓球A・B面各6台
トレーニング室	109.35㎡	各種トレーニングマシン
ランニング走路	-	1周140メートルの室内トラック
保育室	96.67㎡	お子さんを連れて体育館を利用する場合、無料で利用できます。(保護者同伴)

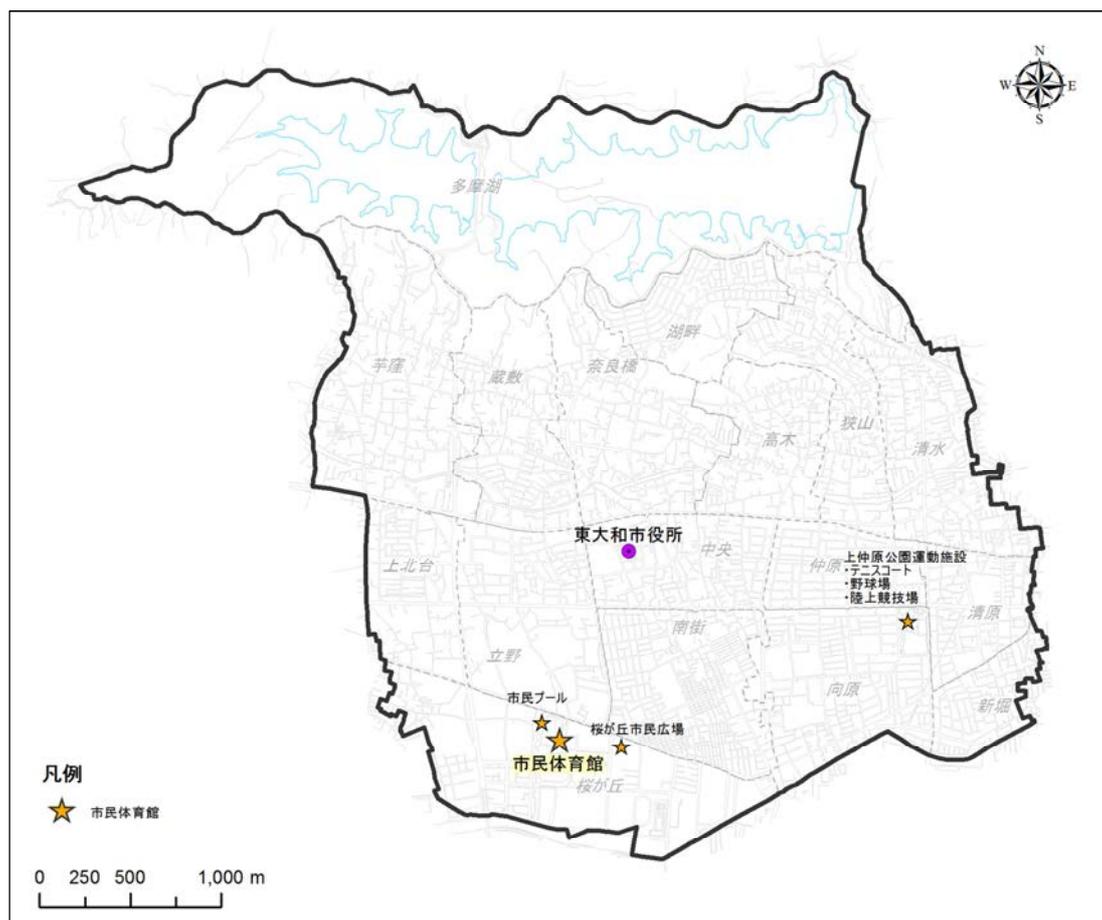


図 3-96 市民体育館の配置

② 建物状況

市民体育館は、延床面積が4,908㎡であり、比較的規模の大きな施設です。平成27年度時点で建築から28年が経過しています。

表 3-65 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積(㎡)	所有状況	延床面積(㎡)	所有状況			
1	市民体育館	桜が丘2-167-13	13,857	都	4,908	市	SRC	1987(S62)	
	合計		13,857		4,908				

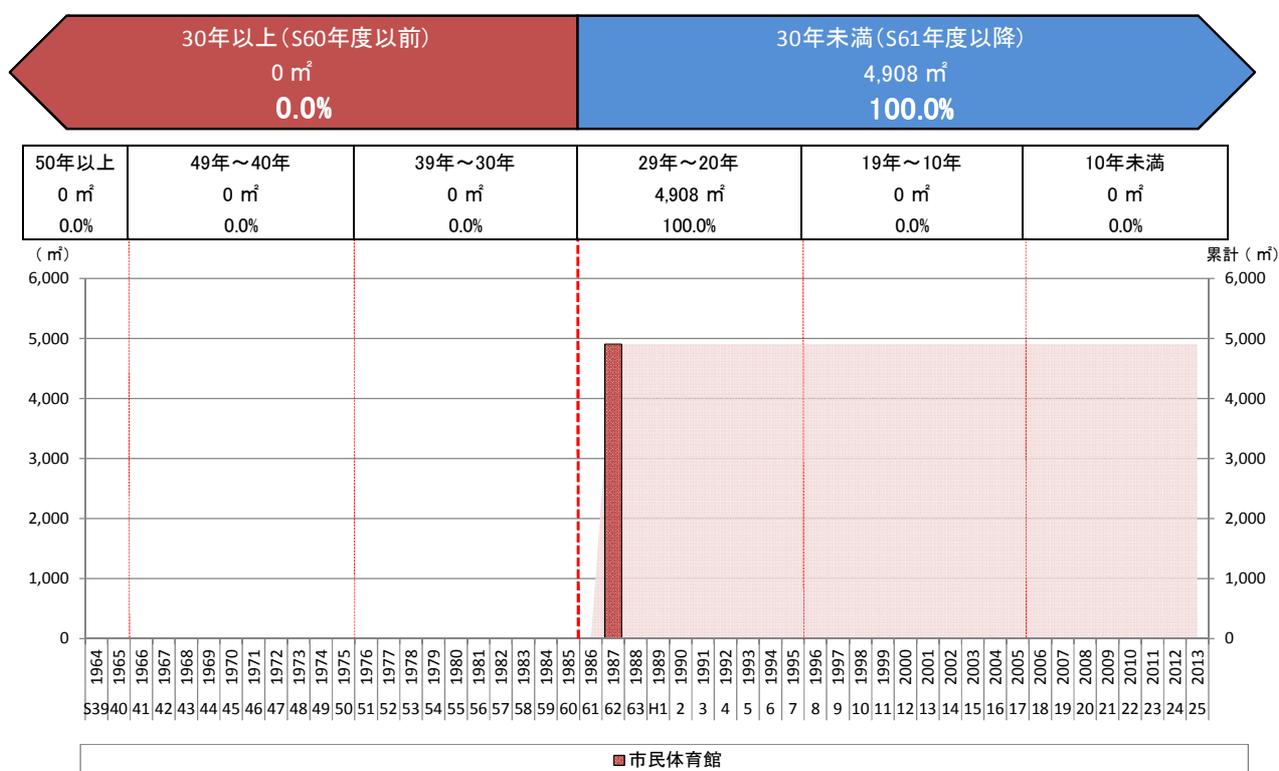


図 3-97 建築年度別の延床面積の状況(市民体育館)

③ 利用状況

市民体育館の年間延利用者数は平成23年度以降増加しています。平成23年度には103,122人でしたが、平成24年度には111,127人、平成25年度には113,556人となりました。

平成23年度以降の1日あたりの平均利用者数は300人前後で推移しています。

市民体育館（第1～第3体育室）の稼働率は平成23年度以降75%前後で推移しています。

表 3-66 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)
市民体育館	103,122	346	298	111,127	345	322	113,556	345	329
団体利用(件、人/日)	5,550 件	346	160	5,750 件	345	167	5,917 件	345	172
個人利用(人)	47,622	346	138	53,627	345	155	54,386	345	158

(注) 団体利用（第1～第3体育室）に関しては、1団体10人としてカウントしています。

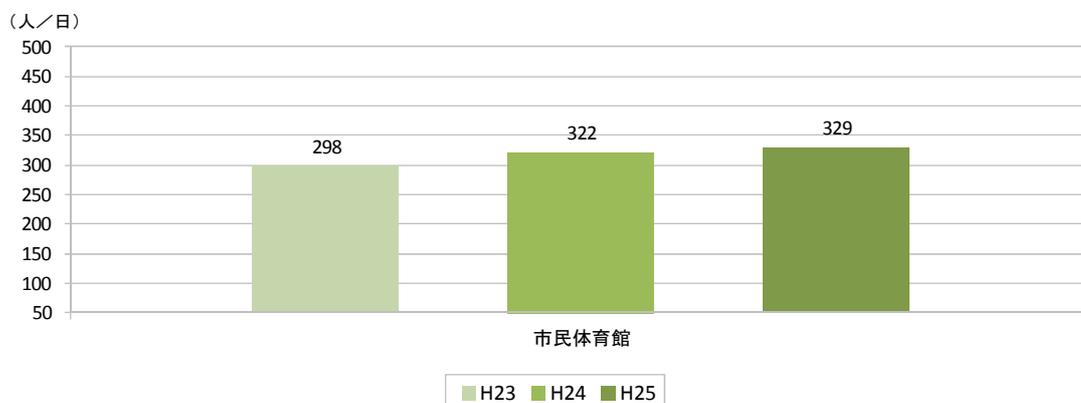


図 3-98 1日あたりの利用者数の推移

表 3-67 稼働率の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	使用回数 (回)	使用可能 回数 (回)	稼働率 (%)	使用回数 (回)	使用可能 回数 (回)	稼働率 (%)	使用回数 (回)	使用可能 回数 (回)	稼働率 (%)
市民体育館	5,550	7,510	73.9%	5,750	7,578	75.9%	5,917	7,803	75.8%

(注) 稼働率 (%) = 使用回数 ÷ 使用可能回数 × 100

稼働率（使用率）については、団体利用（第1～第3体育室）についてのみ算出しています。

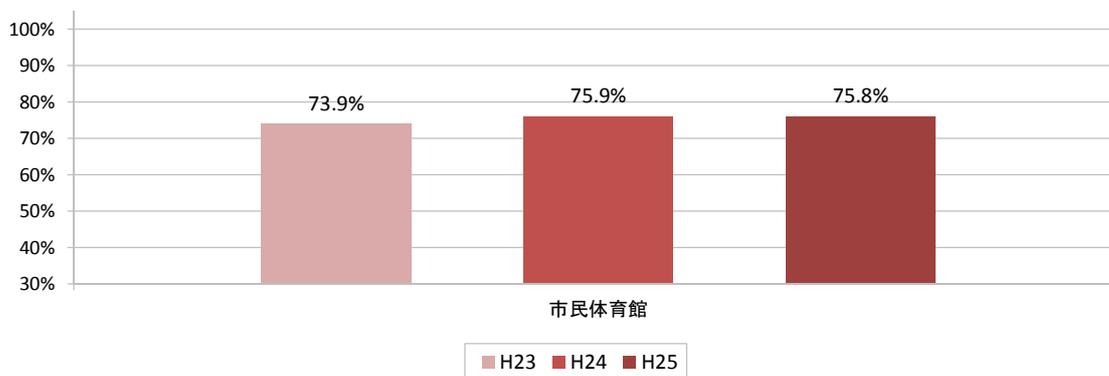


図 3-99 稼働率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

市民体育館のコストを平成23年度から3年間の推移でみると、概ね同水準で推移しています。

表 3-68 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
市民体育館	H23	0	17,827	0	90,389	3,843	112,059	36,309	148,368
	H24	0	22,261	0	90,091	368	112,720	36,309	149,029
	H25	0	18,371	0	90,380	498	109,248	36,309	145,557

(注) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。

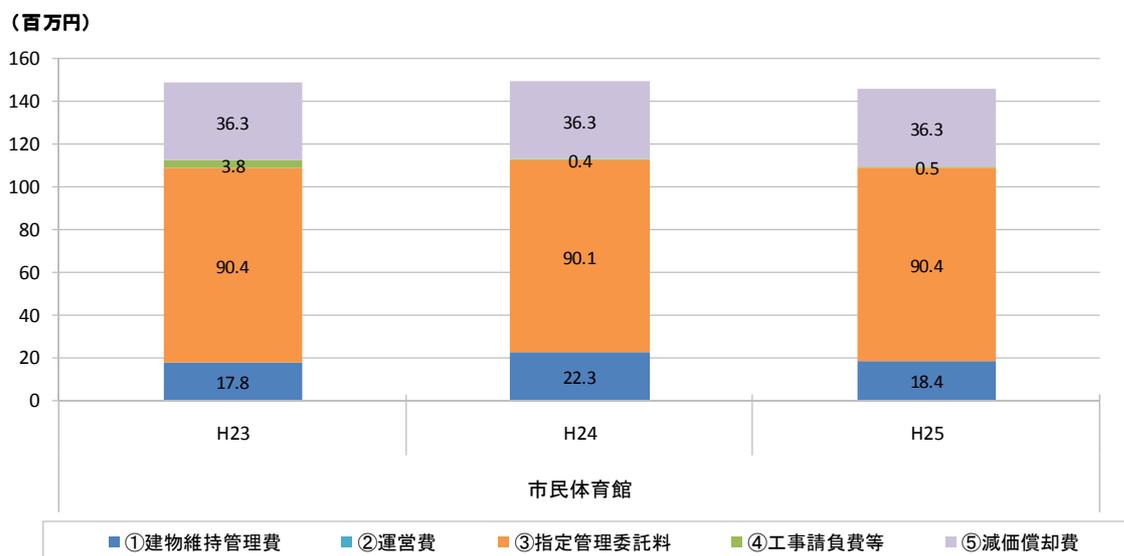


図 3-100 コストの年次推移

イ. 内訳

市民体育館について平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は指定管理委託料であり、施設全体で約62.1%を占めています。また建物維持管理費の使用料及び賃借料は、市民体育館用地の借上料になります。

表 3-69 コストの内訳(H25年度)

			単位(千円)		
			市民体育館		
収入		使用料等	0		
支出	運営経費	光熱水費	0		
		燃料費	0		
		建物維持管理費	修繕料	844	
		建物管理委託料	0		
		使用料及び賃借料	17,526		
		その他経費	0		
		計	18,371		
	運営費	事業運営費	0		
		人件費	0		
			計	0	
		指定管理委託料	90,380		
		小計	108,750		
		資本的経費(工事請負費等)	498		
		支出計	109,248		
		減価償却費	36,309		
		総コスト(支出+減価償却費)	145,557		

延床面積	(㎡)	4,908
延利用者数	(人)	113,556
面積あたり	運営経費 (円/㎡)	22,159
	総コスト (円/㎡)	29,658
一人あたり	運営経費 (円/人)	958
	総コスト (円/人)	1,282

(注1) 指定管理委託料は、市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園運動施設で一括しており、市民体育館に計上しています。

(注2) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に記載された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

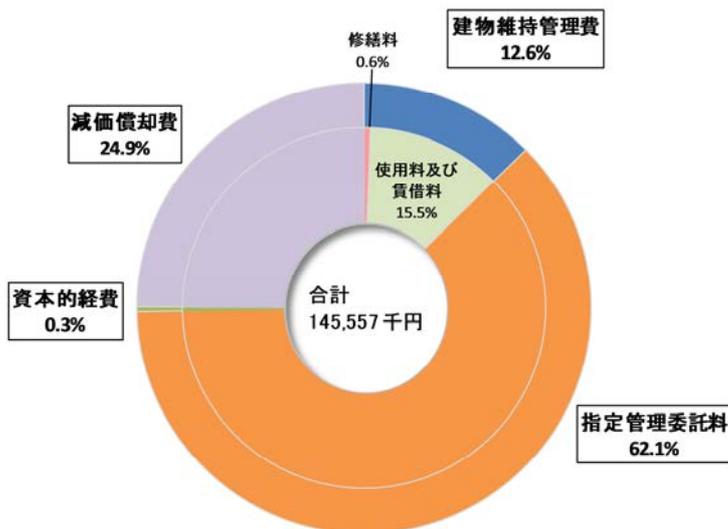


図 3-101 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

市民体育館について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」をみると、29,658円/㎡となっています。

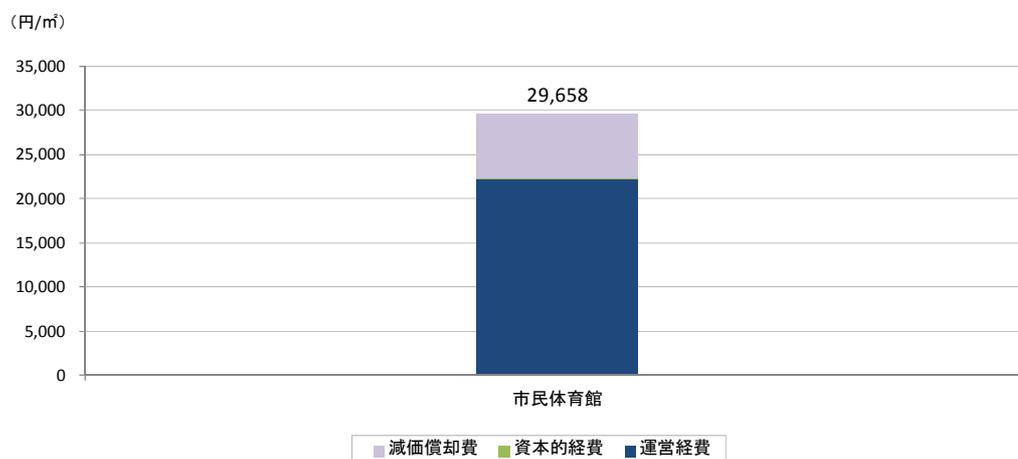


図 3-102 延床面積あたりコスト(H25 年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

市民体育館について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」をみると、1,282円/人となっています。

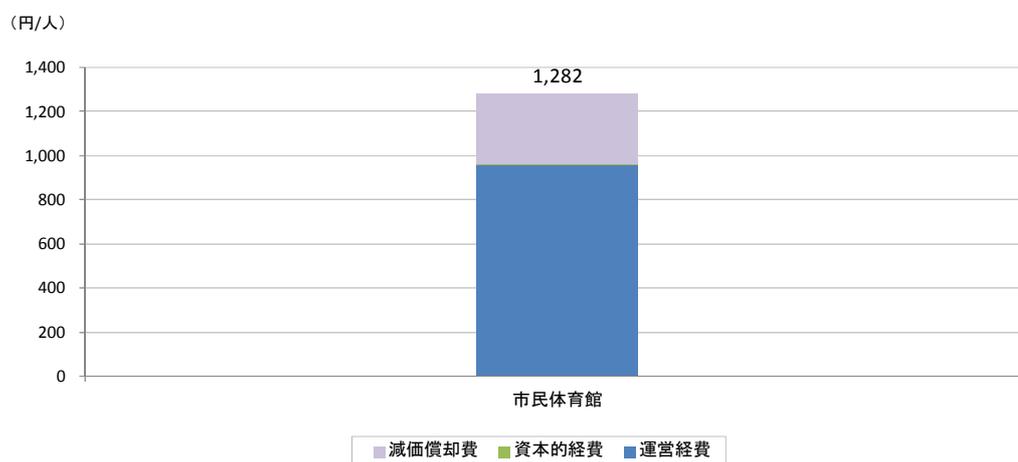


図 3-103 利用者一人あたりコスト(H25 年度)

## 第5項 子育て支援施設

### (1) 保育園

#### ① 施設概要

市立の認可保育所である狭山保育園は東大和市立保育園設置条例に基づき、保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他の児童で保育を必要とするものを保育するために設置しています。

狭山保育園では園児は多摩湖の自然の中でのびのびと遊んでいます。友だちと一緒にいろいろな行事や活動を体験しながら、心と体がバランスよく発達するように保育することを心がけています。

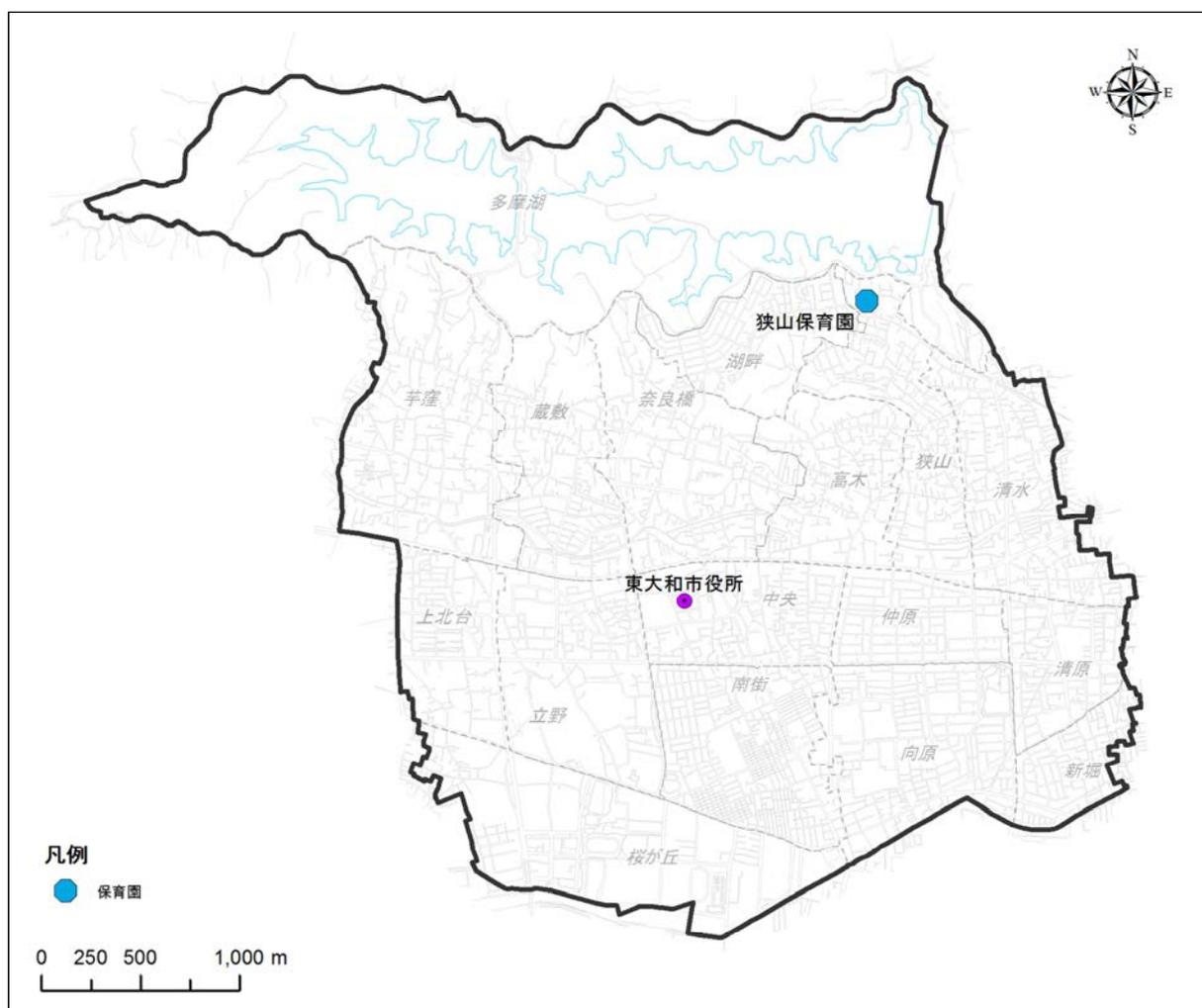


図 3-104 保育園の配置

(注) 市内には保育施設として、公立の認可保育所である狭山保育園以外に、私立の認可保育所は15園、認証保育所は2園、家庭的保育施設は2か所、小規模保育施設は1園及び認定こども園が1園あります。なお、私立の幼稚園が3園あります（平成27年11月1日現在）。

② 建物状況

狭山保育園は昭和48年度に建築し、平成27年度時点で建築から42年が経過しています。

表 3-70 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (㎡)	所有状況	延床面積 (㎡)	所有状況			
1	狭山保育園	狭山1-849-1	1,983	市	670	市	RC,S	1973 (S48)	
	合計		1,983		670				

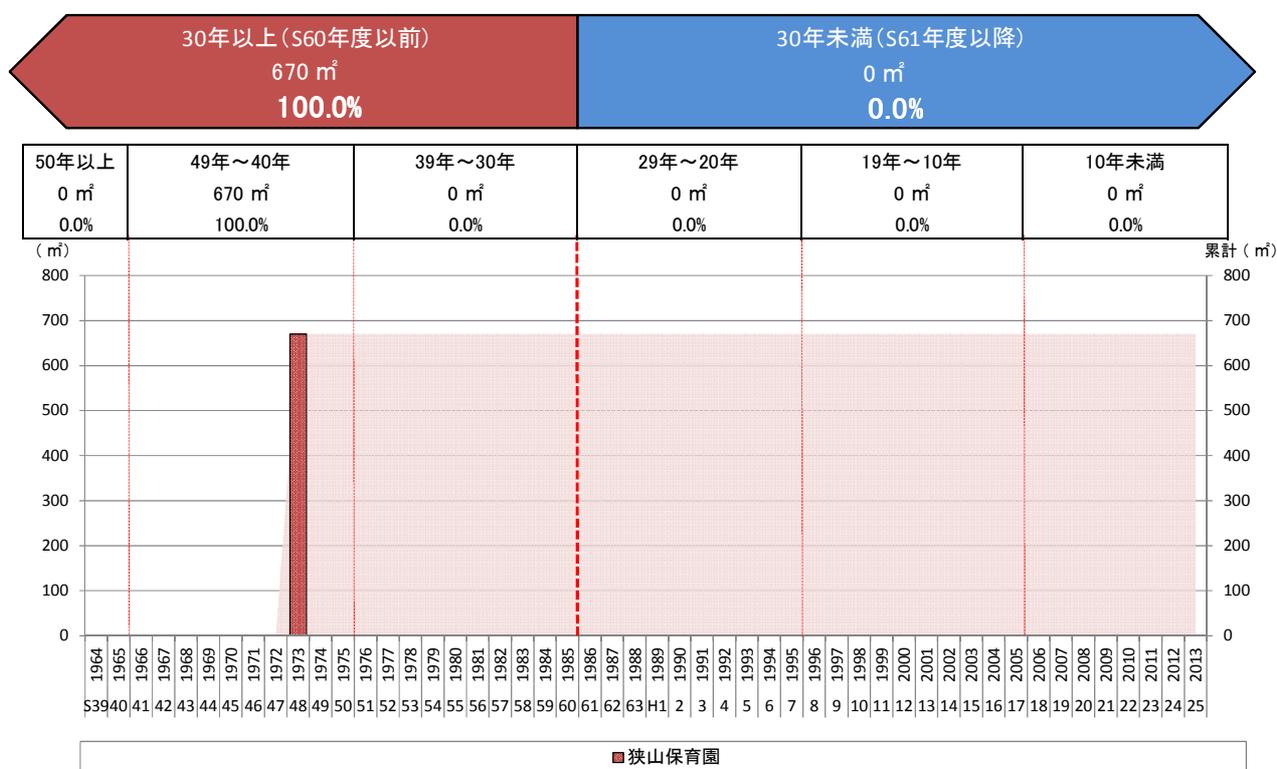


図 3-105 建築年度別の延床面積の状況(保育園)

③ 利用状況

狭山保育園の入園児定数は105人です。園児数は平成23年度は109人、平成24年度は111人、平成25年度は97人となっています。

入園率は平成23年度及び24年度には100%を超過しましたが、平成25年度は92%となっています。

表 3-71 入園児の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	入園児数 (人)	入園児定 数(人)	入園率 (%)	入園児数 (人)	入園児定 数(人)	入園率 (%)	入園児数 (人)	入園児定 数(人)	入園率 (%)
狭山保育園	109	105	104	111	105	106	97	105	92

(注) 入園率 (%) = 入園児数 ÷ 入園児定数 × 100

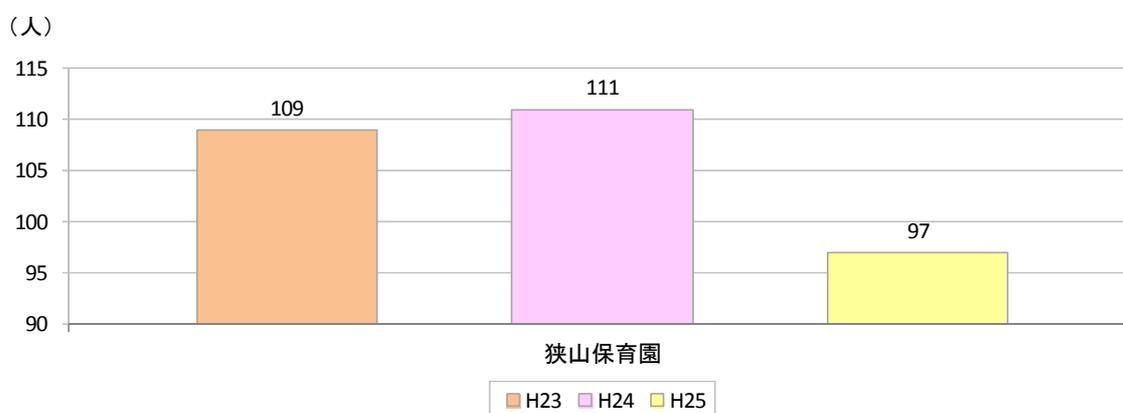


図 3-106 園児数の推移

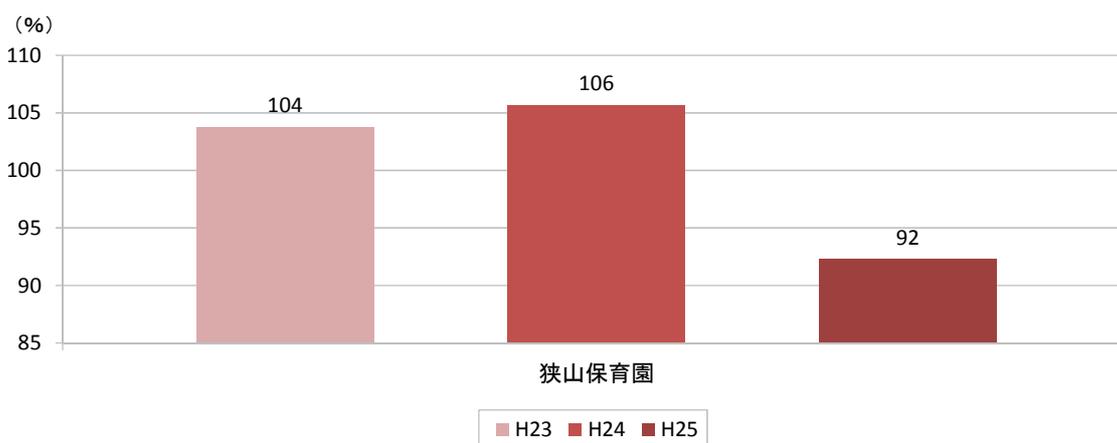


図 3-107 入園率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

狭山保育園のコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。

表 3-72 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
狭山保育園	H23	2,460	21,427	188,608	0	0	210,035	2,281	212,316
	H24	3,444	19,998	155,507	0	4,725	180,230	2,281	182,511
	H25	3,698	22,409	164,149	0	19,950	206,508	2,281	208,789

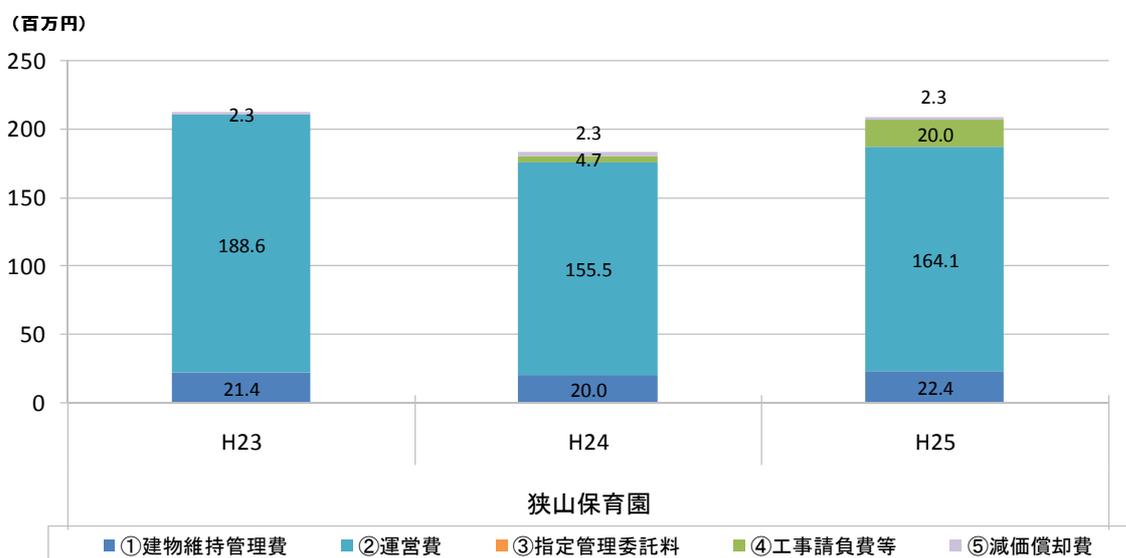


図 3-108 コストの年次推移

イ. 内訳

狭山保育園について平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約78.6%を占めています。

表 3-73 コストの内訳(H25年度)

			単位(千円)
			狭山保育園
収入	使用料等		3,698
支出	建物維持管理費	光熱水費	3,490
		燃料費	18
		修繕料	608
		建物管理委託料	17,269
		使用料及び賃借料	524
		その他経費	500
		計	22,409
	運営費	事業運営費	0
		人件費	164,149
		計	164,149
		指定管理委託料	0
	小計	186,558	
	資本的経費(工事請負費等)	19,950	
	支出計	206,508	
	減価償却費	2,281	
	総コスト(支出+減価償却費)	208,789	
延床面積	(㎡)	670	
園児数	(人)	97	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	278,279
	総コスト	(円/㎡)	311,439
一人あたり	運営経費	(円/人)	1,923,281
	総コスト	(円/人)	2,152,462

(注1)「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~200円程度の差があります。

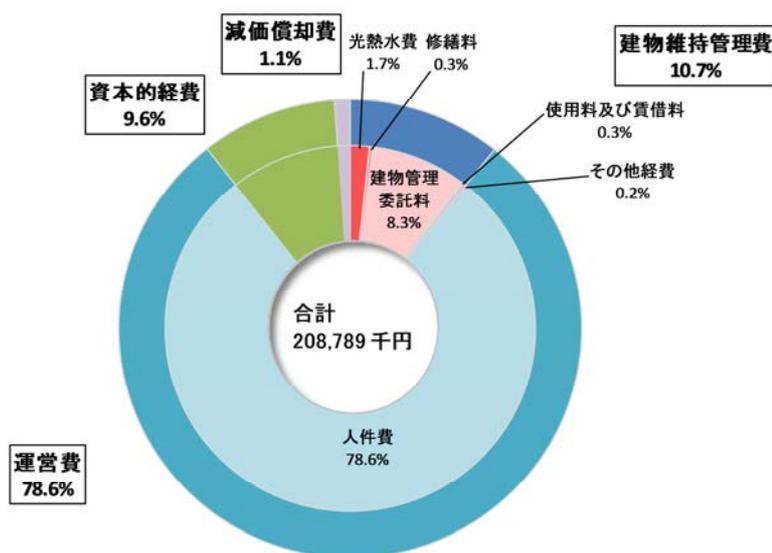


図 3-109 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

狭山保育園について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」をみると、311,439円/㎡となっています。

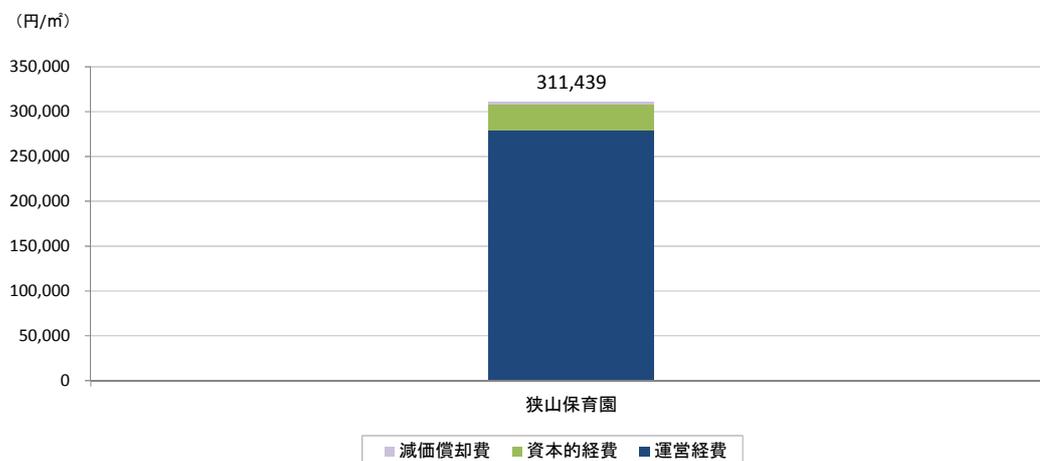


図 3-110 延床面積あたりコスト(H25 年度)

### エ. 園児一人あたりコスト

狭山保育園について平成25年度における「園児一人あたりの総コスト（円/人）」をみると、2,152,462円/人となっています。

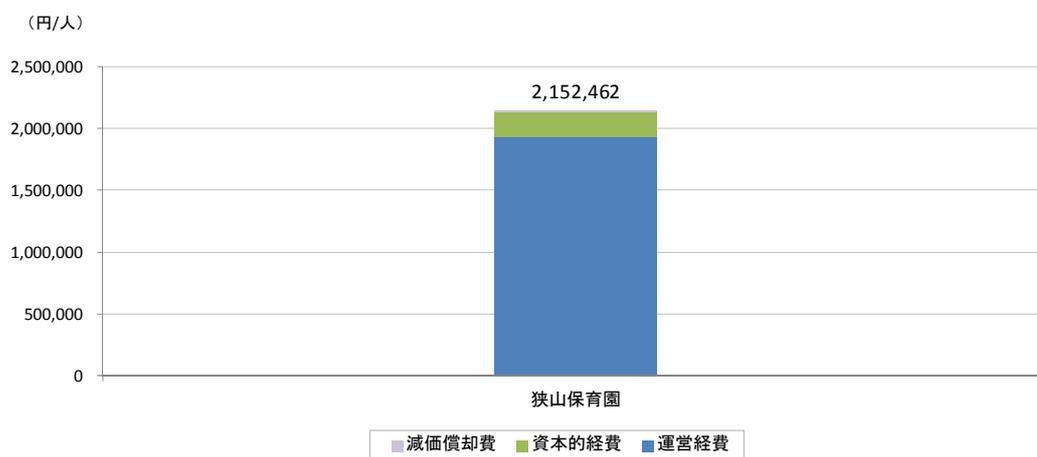


図 3-111 園児一人あたりコスト(H25 年度)

## (2) 児童館

### ① 施設概要

児童館は、東大和市立児童館条例に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするために設置しています。市内には6か所の児童館を開設しています。児童館は、すべての幼児・児童のための自由な活動や遊びなどの拠点となる場です。開館時間中は、いつでも自由に来館して、自由に過ごすことができます。

児童館は直営で運営を行っています。また、児童館では以下の事業を行っています。

#### 【児童館全般】

- 1年に1度程度、各児童館で児童館まつりを行っています。
- 自由に好きな遊びができます。
- みんなで一緒に楽しむ工作教室、スポーツ大会、ゲーム大会、料理教室などの行事も行っています。

#### 【子育て支援事業】

- 幼児が遊べるスペースを用意しています。
- 乳幼児対象の遊びの会を月に1~2回行っています。
- 乳幼児対象の親子サークルを行っています。

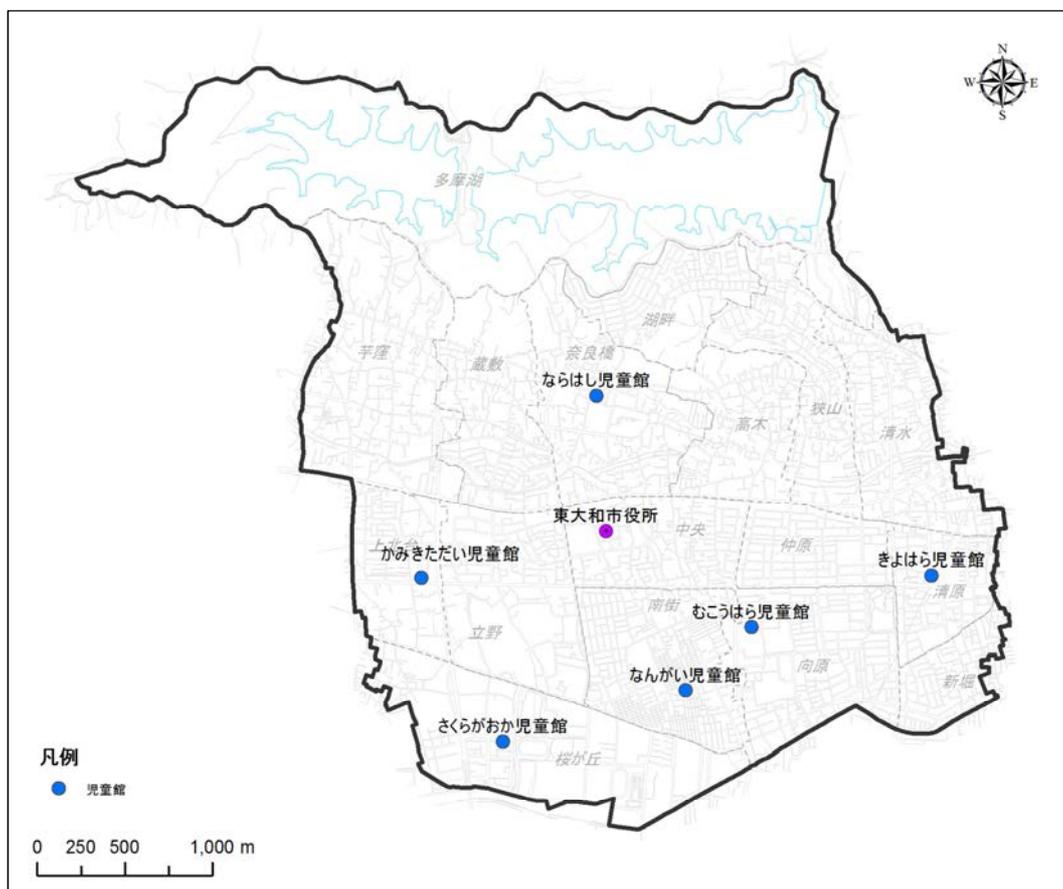


図 3-112 児童館の配置

② 建物状況

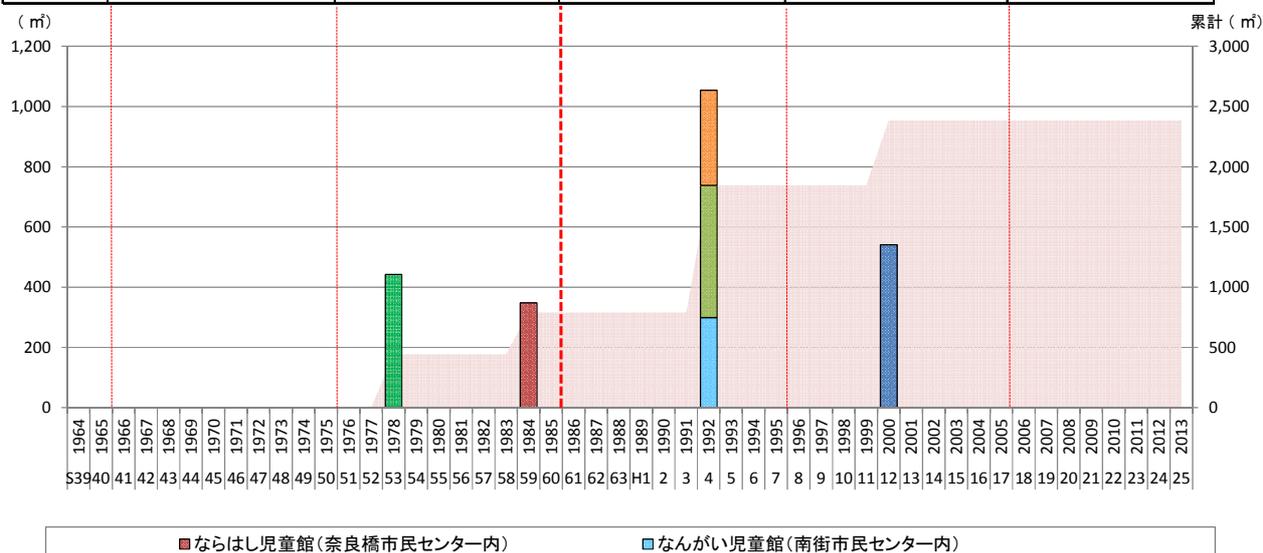
きよはら児童館以外の5か所の児童館は各市民センター内に設置しています。児童館の建物全体でみると築30年未満のものが66.9%を占めています。築30年以上が経過した児童館は33.1%を占めており、ならはし児童館（奈良橋市民センター内）ときよはら児童館が該当します。むこうはら児童館は昭和52年4月に開設していますが、平成12年度に向原市民センター内に移転しています。

表 3-74 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積 (㎡)	所有状況	延床面積 (㎡)	所有状況			
1	ならはし児童館	奈良橋4-600	3,041	市	348	市	RC,LGS	1984 (S59)	奈良橋市民センター内
2	なんがい児童館	南街5-32	1,642	市	299	市	RC	1992 (H4)	南街市民センター内
3	かみきただい児童館	上北台2-865-9	1,199	市、民間	440	市	RC	1992 (H4)	上北台市民センター内
4	さくらがおか児童館	桜が丘3-44-13	859	民間	316	借上	RC	1992 (H4)	桜が丘市民センター内
5	むこうはら児童館	向原3-10	2,706	都	541	借上	RC	2000 (H12)	向原市民センター内
6	きよはら児童館	清原2-1	1,126	都	443	借上	RC	1978 (S53)	
	合計		10,573		2,386				



50年以上	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	10年未満
0 ㎡	0 ㎡	790 ㎡	1,054 ㎡	541 ㎡	0 ㎡
0.0%	0.0%	33.1%	44.2%	22.7%	0.0%



(注1) ならはし、なんがい、かみきただい、さくらがおか及びむこうはら児童館の延床面積は、市民センター内で当該施設が占める面積分を示しています。

(注2) きよはら児童館の延床面積は、きよはら児童館(建物)内で当該施設が占める面積分を示しています。

図 3-113 建築年度別の延床面積の状況(児童館)

③ 利用状況

児童館について平成23年度から3年間の利用状況をみると、大きな増減は見られない状況です。児童館別にみると、むこうはら児童館ときよはら児童館は年間延利用者数が3万人を超えています（きよはら児童館は平成25年度は25,750人です）。他の児童館は2万人台で推移しています。1日あたりの平均利用者数は70人台から100人台で推移している状況です。

表 3-75 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者 数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者 数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)
ならはし児童館	23,959	294	81	25,523	293	87	25,755	293	88
なんがい児童館	22,000	294	75	19,631	292	67	20,970	292	72
かみきただい児童館	26,904	294	92	29,431	293	100	26,215	294	89
さくらがおか児童館	20,504	294	70	23,224	291	80	22,043	288	77
むこうはら児童館	30,898	294	105	31,324	292	107	30,242	290	104
きよはら児童館	30,415	294	103	31,400	292	108	25,750	293	88

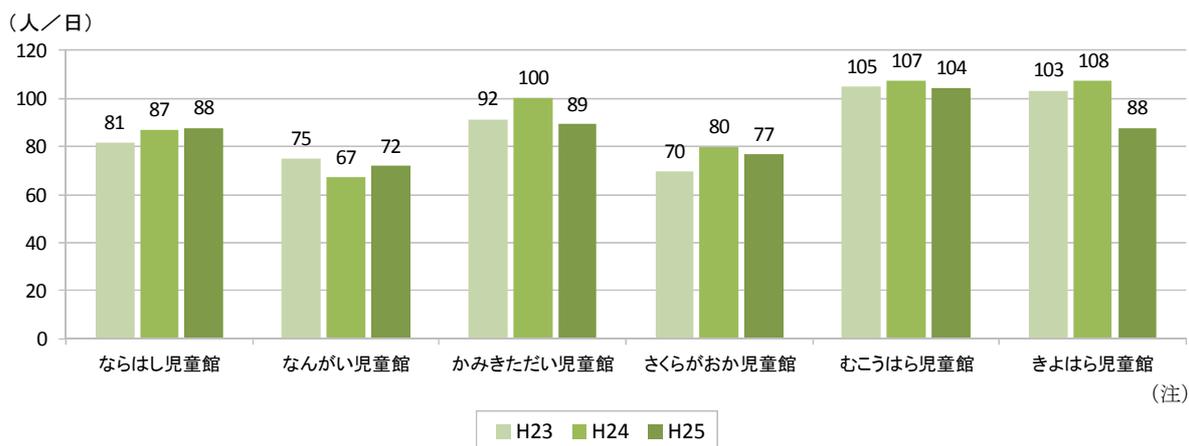


図 3-114 1日あたりの利用者数の推移

(注) きよはら児童館は、平成25年12月9日～平成26年3月14日で空調機器の老朽化に伴う改修工事を実施しました。

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

児童館のコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。きよはら児童館は平成25年度に空調機器の老朽化に伴う改修工事を実施し、工事請負費の支出をしました。

表 3-76 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
ならはし児童館	H23	68	56	15,721	0	0	15,777	0	15,777
	H24	40	46	15,600	0	0	15,647	0	15,647
	H25	55	77	16,204	0	0	16,280	0	16,280
なんがい児童館	H23	23	57	15,769	0	0	15,825	0	15,825
	H24	26	13	15,932	0	0	15,945	0	15,945
	H25	18	405	16,923	0	0	17,328	0	17,328
かみきただい児童館	H23	52	11	15,311	0	0	15,322	0	15,322
	H24	61	66	15,123	0	0	15,189	0	15,189
	H25	56	47	15,518	0	0	15,565	0	15,565
さくらがおか児童館	H23	41	136	15,594	0	0	15,730	0	15,730
	H24	39	158	15,648	0	0	15,806	0	15,806
	H25	46	181	15,971	0	0	16,152	0	16,152
むこうはら児童館	H23	18	84	17,025	0	0	17,110	0	17,110
	H24	25	80	16,894	0	0	16,974	0	16,974
	H25	20	107	17,025	0	0	17,132	0	17,132
きよはら児童館	H23	23	3,248	15,181	0	0	18,430	0	18,430
	H24	22	3,861	16,007	0	0	19,868	0	19,868
	H25	18	3,777	16,300	0	8,978	29,054	0	29,054

(注1) 市民センター内に入っている児童館のコストについては、各児童館の占有部分にかかるコストを計上し、それ以外のコストは各市民センターのコストに計上しています。

(注2) 減価償却費は、市所有の建物でない場合は発生しません。なお、市所有の市民センターに入っている児童館の減価償却費は各市民センターに計上しています。

(百万円)

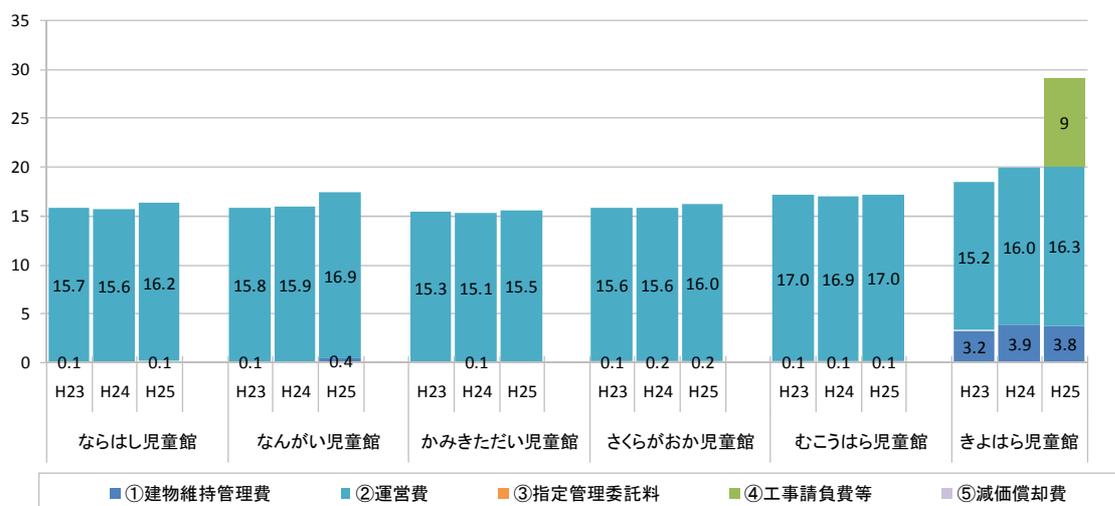


図 3-115 コストの年次推移

イ. 内訳

児童館のコストについて平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約82.1%を占めています。

表 3-77 コストの内訳(H25年度)

単位(千円)

		ならはし児童館	なんがい児童館	かみきただい児童館	さくらがおか児童館	むこうはら児童館	きよはら児童館	合計	
収入	使用料等	55	18	56	46	20	18	212	
支出	建物維持管理費	光熱水費	0	0	0	0	1,361	1,361	
		燃料費	0	0	0	0	192	192	
		修繕料	77	75	47	181	73	152	604
		建物管理委託料	0	0	0	0	1,005	1,005	
		使用料及び賃借料	0	0	0	0	764	764	
		その他経費	0	331	0	0	34	302	667
		計	77	405	47	181	107	3,777	4,593
	運営費	事業運営費	882	1,542	1,042	1,220	941	723	6,350
		人件費	15,322	15,381	14,476	14,751	16,084	15,577	91,591
		計	16,204	16,923	15,518	15,971	17,025	16,300	97,942
		指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0
	小計	16,280	17,328	15,565	16,152	17,132	20,077	102,535	
	資本的経費(工事請負費等)	0	0	0	0	0	8,978	8,978	
	支出計	16,280	17,328	15,565	16,152	17,132	29,054	111,512	
	減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	
	総コスト(支出+減価償却費)	16,280	17,328	15,565	16,152	17,132	29,054	111,512	

延床面積	(㎡)	348	299	440	316	541	443	2,386	
延利用者数	(人)	25,755	20,970	26,215	22,043	30,242	25,750	150,975	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	46,793	57,977	35,409	51,164	31,649	45,369	42,975
	総コスト	(円/㎡)	46,793	57,977	35,409	51,164	31,649	65,656	46,738
一人あたり	運営経費	(円/人)	632	826	594	733	567	780	679
	総コスト	(円/人)	632	826	594	733	567	1,128	739

- (注1) 市民センター内に入っている児童館のコストについては、各児童館の占有部分にかかるコストを計上し、それ以外のコストについては、各市民センターのコストに計上しています。
- (注2) 減価償却費は、市所有の建物でない場合は発生しません。なお、市所有の市民センターに入っている児童館の減価償却費は各市民センターに計上しています。
- (注3) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に記載された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

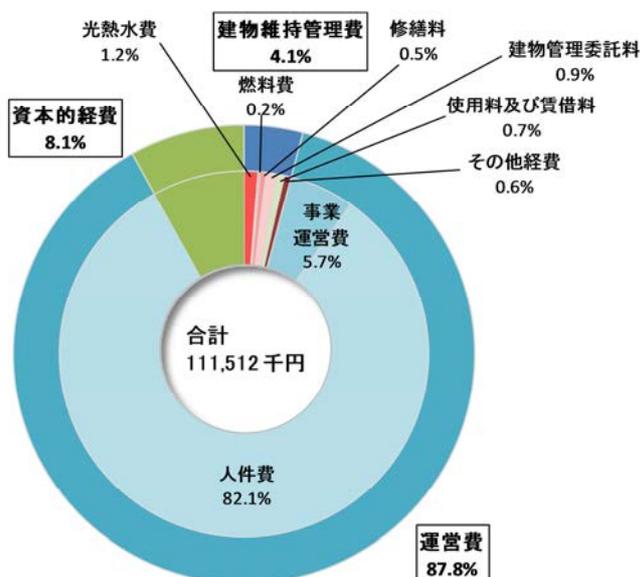


図 3-116 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

児童館について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」を比較すると、概ね30,000円/㎡～66,000円/㎡の水準になっています。運営経費は延床面積が相対的に大きい児童館が低い水準となっています。

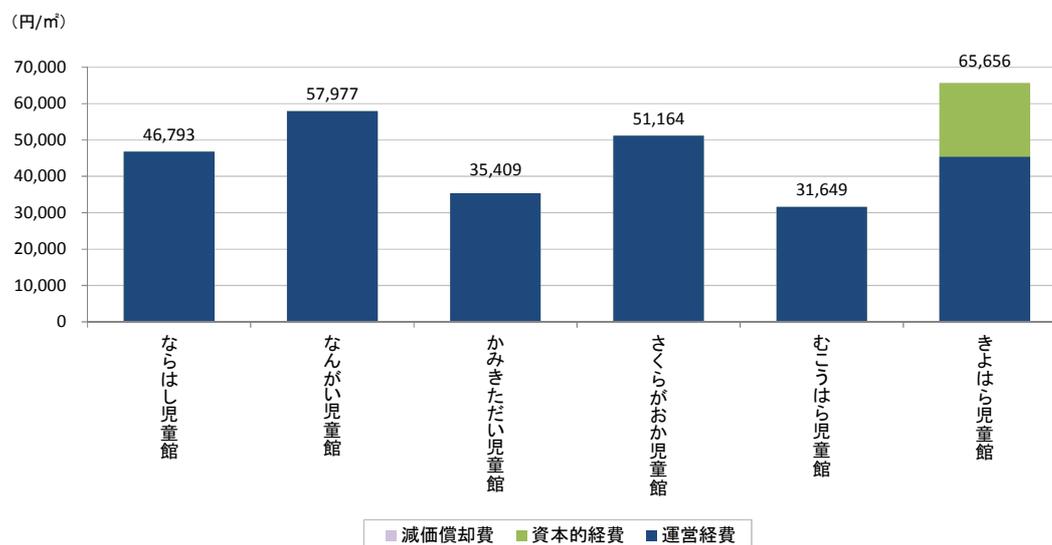


図 3-117 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

児童館について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」を比較すると、運営経費は、概ね560円/人～830円/人前後の水準となっています。運営経費は、利用者数が相対的に多い児童館が低い水準となっています。

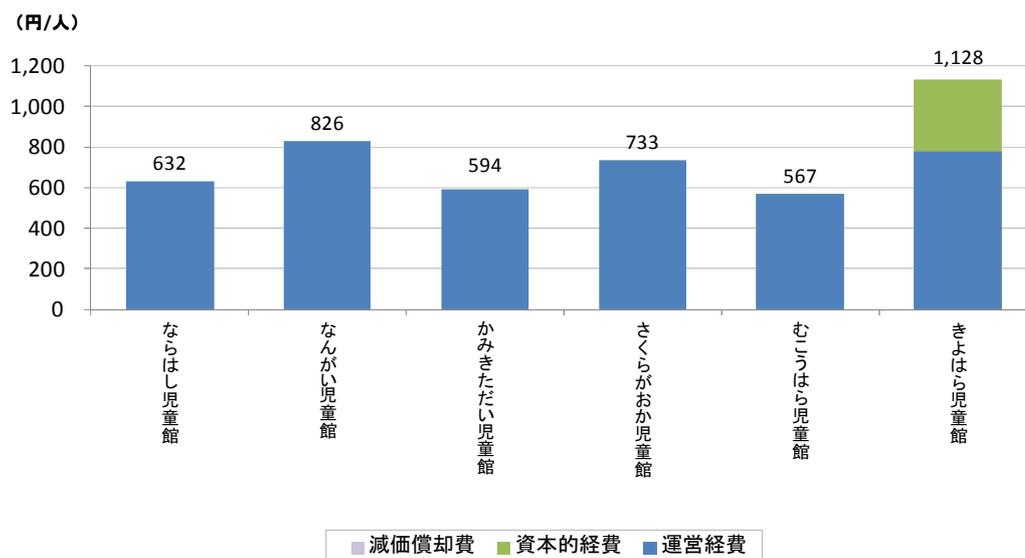


図 3-118 利用者一人あたりコスト(H25年度)

### (3) 学童保育所

#### ① 施設概要

学童保育所は、東大和市立学童保育所条例に基づき、昼間留守家庭において、保護者の適切な監護を受けられない小学校に就学している児童の安全確保及び健全育成を図るために設置しています。昭和 39 年に最初の学童保育所が設置されて以来、順次整備が進められ、現在、市内には 11 か所の学童保育所があります。学童保育所は、直営で運営を行っています。

平成 27 年度から入所の申請ができる児童の要件は、市内に居住しており小学校に就学している児童です（集団生活を営むことができ、かつ、自力で通所することができること）。ただし、心身に障害を有する児童については、原則として「身体障害者手帳」5 級から 7 級までのもの、「愛の手帳」4 度及び 3 度、またはこれと同程度の児童を対象としています。また保護者の要件は、就労・疾病・障害・災害・介護・出産・就学等の理由により、昼間家庭において児童の適切な監護に当たれないこととなります。

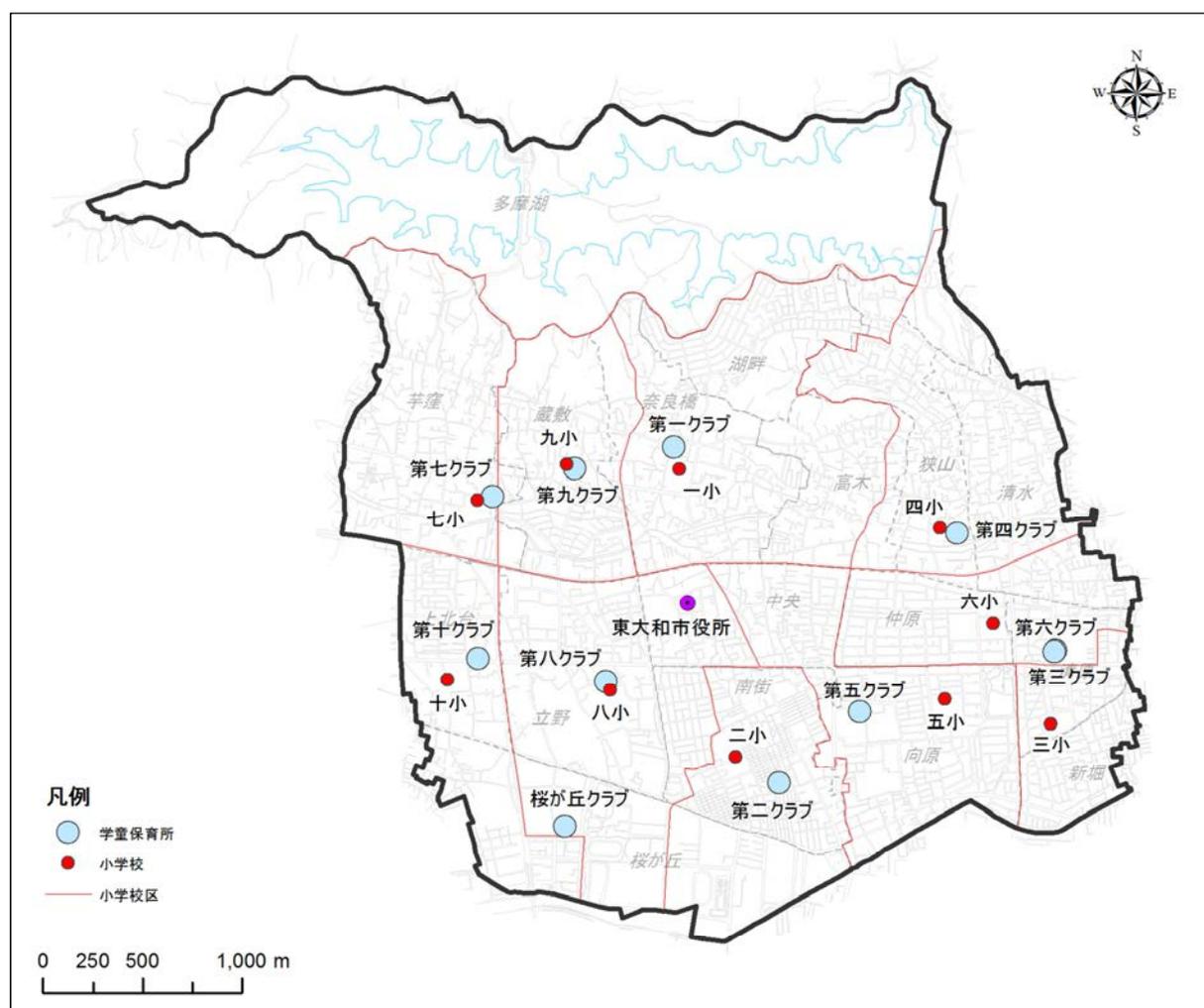


図 3-119 学童保育所の配置

② 建物状況

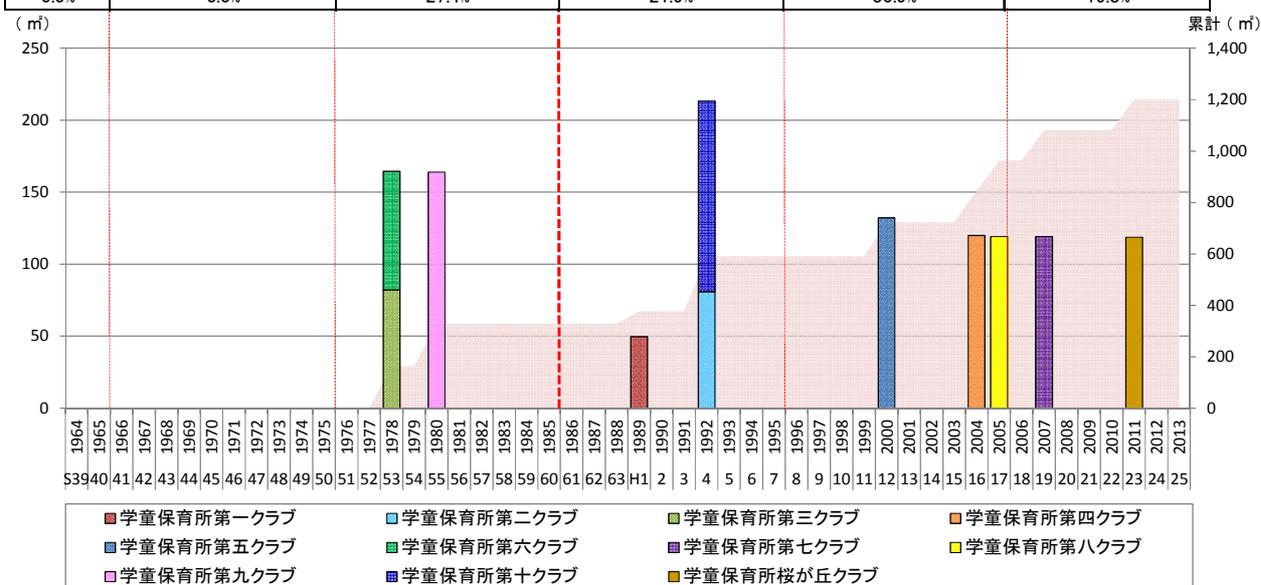
学童保育所は築30年未満の延床面積が全体の72.6%を占めています。4か所の学童保育所は市民センター内に設置されています。また、2か所の学童保育所はきよはら児童館に併設されています。なお、学童保育所桜が丘クラブは平成25年度に開設しました。

表 3-78 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積(m <sup>2</sup> )	所有状況	延床面積(m <sup>2</sup> )	所有状況			
1	学童保育所第一クラブ	奈良橋4-600	3,041	市	117	市	RC,LGS	1984(S59)	奈良橋市民センター内 プレハブ倉庫(49.68m <sup>2</sup> )を含む
2	学童保育所第二クラブ	南街5-32	1,642	市	81	市	RC	1992(H4)	南街市民センター内
3	学童保育所第三クラブ	清原2-1	1,126	都	82	借上	RC	1978(S53)	きよはら児童館内
4	学童保育所第四クラブ	狭山5-1054-1	414	市	120	市	S	2004(H16)	
5	学童保育所第五クラブ	向原3-10	2,706	都	132	借上	RC	2000(H12)	向原市民センター内
6	学童保育所第六クラブ	清原2-1	1,126	都	82	借上	RC	1978(S53)	きよはら児童館内
7	学童保育所第七クラブ	芋窪5-1183-1	448	民間	119	市	S	2007(H19)	
8	学童保育所第八クラブ	立野3-1246-1	459	民間	119	市	S	2005(H17)	
9	学童保育所第九クラブ	蔵敷2-546	501	市	164	市	S	1980(S55)	
10	学童保育所第十クラブ	上北台2-865-9	1,199	市、民間	132	市	RC	1992(H4)	上北台市民センター内
11	学童保育所桜が丘クラブ	桜が丘2-222-11	331	市	119	市	S	2011(H23)	H25年度開設
合計			12,993		1,268				



50年以上	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	10年未満
0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	328 m <sup>2</sup>	263 m <sup>2</sup>	371 m <sup>2</sup>	238 m <sup>2</sup>
0.0%	0.0%	27.4%	21.9%	30.9%	19.8%



(注1) 学童保育所第一クラブ、第二クラブ、第五クラブ及び第十クラブの延床面積は、市民センター内で当該施設が占める面積分を示しています。

(注2) 学童保育所第三クラブ及び第六クラブの延床面積は、きよはら児童館内で当該部分が占める面積分を示しています。

図 3-120 建築年度別の延床面積の状況(学童保育所)

③ 利用状況

学童保育所の在籍児童数を平成23年度からの3年間でみると、概ね同水準で推移しています。なお、桜が丘クラブは平成25年度に新設された施設です。在籍児童率は施設ごとに大きな開きがあり、100%に達する施設が複数ある一方で、第七クラブと第九クラブは70%前後の在籍児童率で推移しています。

表 3-79 在籍児童数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	在籍児童数(人)	定員(人)	在籍児童率(%)	在籍児童数(人)	定員(人)	在籍児童率(%)	在籍児童数(人)	定員(人)	在籍児童率(%)
学童保育所第一クラブ	72	72	100.0%	72	72	100.0%	72	72	100.0%
学童保育所第二クラブ	55	55	100.0%	55	55	100.0%	55	55	100.0%
学童保育所第三クラブ	50	55	90.9%	47	55	85.5%	45	55	81.8%
学童保育所第四クラブ	72	72	100.0%	57	72	79.2%	64	72	88.9%
学童保育所第五クラブ	72	72	100.0%	65	72	90.3%	72	72	100.0%
学童保育所第六クラブ	55	55	100.0%	55	55	100.0%	55	55	100.0%
学童保育所第七クラブ	54	72	75.0%	53	72	73.6%	47	72	65.3%
学童保育所第八クラブ	72	72	100.0%	72	72	100.0%	72	72	100.0%
学童保育所第九クラブ	52	72	72.2%	44	72	61.1%	48	72	66.7%
学童保育所第十クラブ	72	72	100.0%	72	72	100.0%	71	72	98.6%
学童保育所桜が丘クラブ	-	-	-	-	-	-	54	66	81.8%

(注) 在籍児童率(%) = 在籍児童数 ÷ 定員 × 100

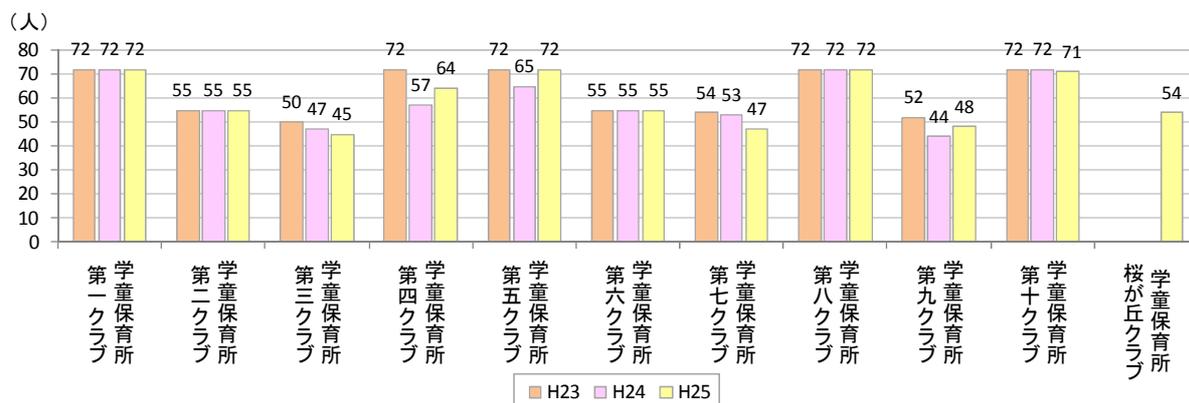


図 3-121 在籍児童数の推移

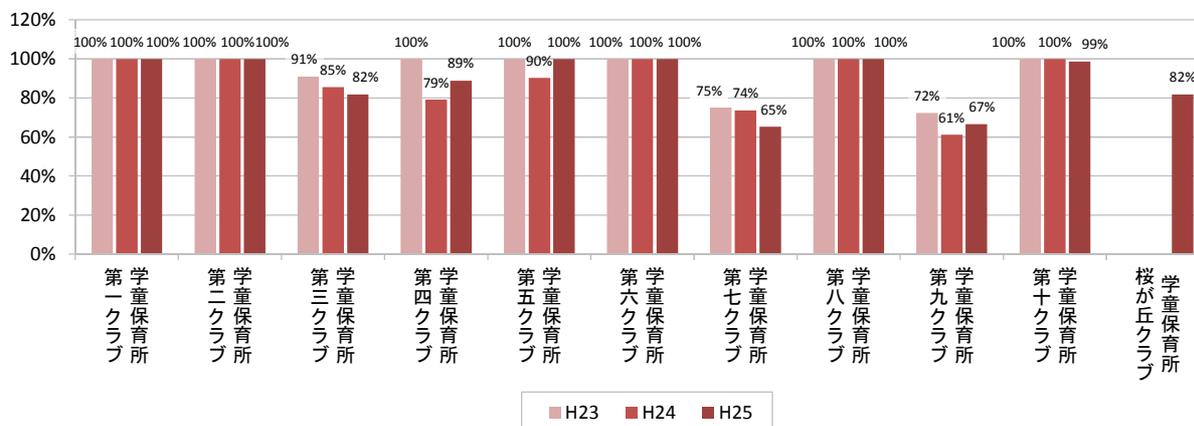


図 3-122 在籍児童率の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

学童保育所のコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。なお、桜が丘クラブは平成25年度に開設しました。

表 3-80 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤減価償却費	総コスト (支出+減価償却費)
			①建物維持管理費	②運営費	③指定管理委託料	④工事請負費等			
学童保育所第一クラブ	H23	5,121	0	7,396	0	0	7,396	303	7,699
	H24	6,731	0	8,045	0	0	8,045	303	8,348
	H25	4,749	0	7,879	0	0	7,879	303	8,182
学童保育所第二クラブ	H23	4,293	0	6,955	0	0	6,955	0	6,955
	H24	3,547	0	7,336	0	0	7,336	0	7,336
	H25	3,636	0	7,226	0	0	7,226	0	7,226
学童保育所第三クラブ	H23	2,781	0	6,474	0	0	6,474	0	6,474
	H24	2,303	0	6,709	0	0	6,709	0	6,709
	H25	2,236	0	6,431	0	0	6,431	0	6,431
学童保育所第四クラブ	H23	4,768	268	7,409	0	0	7,677	798	8,475
	H24	3,087	320	7,099	0	0	7,419	798	8,218
	H25	3,703	369	7,283	0	0	7,652	798	8,450
学童保育所第五クラブ	H23	4,303	0	7,597	0	0	7,597	0	7,597
	H24	3,246	0	7,680	0	0	7,680	0	7,680
	H25	3,751	0	7,652	0	0	7,652	0	7,652
学童保育所第六クラブ	H23	3,118	0	6,779	0	0	6,779	0	6,779
	H24	2,751	0	7,134	0	0	7,134	0	7,134
	H25	2,676	0	6,887	0	0	6,887	0	6,887
学童保育所第七クラブ	H23	4,067	1,940	6,873	0	0	8,813	1,059	9,873
	H24	3,209	1,973	7,006	0	0	8,980	1,059	10,039
	H25	2,874	1,972	6,635	0	0	8,608	1,059	9,667
学童保育所第八クラブ	H23	5,546	2,231	7,701	0	0	9,932	907	10,839
	H24	4,515	2,297	8,156	0	0	10,453	907	11,360
	H25	4,425	2,356	7,760	0	0	10,116	907	11,023
学童保育所第九クラブ	H23	3,517	359	6,158	0	0	6,517	382	6,900
	H24	2,720	391	6,628	0	0	7,019	382	7,401
	H25	2,999	455	6,699	0	0	7,154	127	7,281
学童保育所第十クラブ	H23	4,932	0	7,533	0	0	7,533	0	7,533
	H24	4,311	0	8,082	0	0	8,082	0	8,082
	H25	4,414	0	7,769	0	0	7,769	0	7,769
学童保育所桜が丘クラブ	H23	-	-	-	-	-	-	-	-
	H24	-	-	-	-	-	-	-	-
	H25	3,507	351	7,103	0	0	7,454	1,134	8,588

(注1) 第一、第二、第三、第五、第六、第十クラブの建物維持管理費は各学童保育所が入っている施設（市民センター、きよはら児童館）の経費に含み、ここでは計上していません。

(注2) 減価償却費は、市所有の建物でない場合は発生しません。なお、市所有の市民センターに入っている学童保育所の減価償却費は、各市民センターに計上しています。

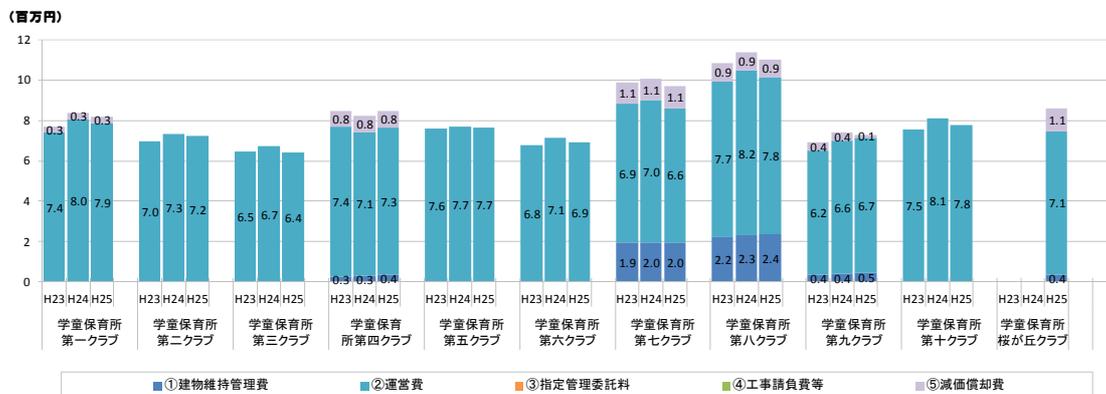


図 3-123 コストの年次推移

(注) 学童保育所第一クラブの減価償却費は、学童保育所が占有する市民センターと別の建物分の減価償却費となります。

第3章 公共施設等の現況  
子育て支援施設【学童保育所】

イ. 内訳

学童保育所のコストについて平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約89.0%を占めています。

表 3-81 コストの内訳(H25年度)

		第一クラブ	第二クラブ	第三クラブ	第四クラブ	第五クラブ	第六クラブ	第七クラブ	第八クラブ	第九クラブ	第十クラブ	桜が丘クラブ	合計	
収入	使用料等	4,749	3,636	2,236	3,703	3,751	2,676	2,874	4,425	2,999	4,414	3,507	38,968	
支出	建物維持管理費	光熱水費	0	0	0	369	0	0	361	472	434	0	351	1,986
		燃料費	0	0	0	0	0	0	21	0	21	0	0	42
		修繕料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		建物管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	1,591	1,884	0	0	0	3,475
		その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	369	0	0	1,972	2,356	455	0	351	5,503	
	運営費	事業運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	7,879	7,226	6,431	7,283	7,652	6,887	6,635	7,760	6,699	7,769	7,103	79,324
		計	7,879	7,226	6,431	7,283	7,652	6,887	6,635	7,760	6,699	7,769	7,103	79,324
指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	7,879	7,226	6,431	7,652	7,652	6,887	8,608	10,116	7,154	7,769	7,454	84,827		
資本的経費(工事請負費等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支出計	7,879	7,226	6,431	7,652	7,652	6,887	8,608	10,116	7,154	7,769	7,454	84,827		
減価償却費	303	0	0	798	0	0	1,059	907	127	0	1,134	4,329		
総コスト(支出+減価償却費)	8,182	7,226	6,431	8,450	7,652	6,887	9,667	11,023	7,281	7,769	8,588	89,156		

延床面積	(㎡)	117	81	82	120	132	82	119	119	164	132	119	1,268	
在籍児童数	(人)	72	55	45	64	72	55	47	72	48	71	54	655	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	67,247	89,297	78,211	63,726	57,913	83,752	72,187	84,839	43,611	58,743	62,793	66,887
	総コスト	(円/㎡)	69,831	89,297	78,211	70,375	57,913	83,752	81,072	92,443	44,388	58,743	72,348	70,300
一人あたり	運営経費	(円/人)	109,435	131,381	142,917	119,557	106,279	125,217	183,139	140,502	149,032	109,427	138,029	129,507
	総コスト	(円/人)	113,641	131,381	142,917	132,031	106,279	125,217	205,681	153,096	151,687	109,427	159,033	136,116

- (注1) 第一、第二、第三、第五、第六、第十クラブの建物維持管理費は各学童保育所が入っている施設(市民センター、きよはら児童館)の経費に含み、ここでは計上していません。
- (注2) 減価償却費は、市所有の建物でない場合は発生しません。なお、市所有の市民センターに入っている学童保育所の減価償却費は各市民センターに計上しています。
- (注3) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~200円程度の差があります。

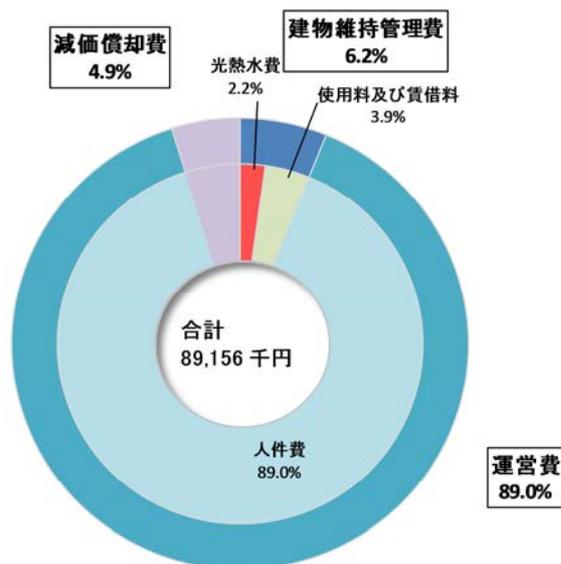


図 3-124 コストの内訳(H25年度)

(注) 学童保育所第一クラブの減価償却費は、学童保育所が占用する市民センターと別の建物分の減価償却費となります。

### ウ. 延床面積あたりコスト

学童保育所について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」を比較すると、概ね45,000円/㎡～90,000円/㎡の水準になっています。第九クラブは延床面積が大きいため、低い水準となっており延床面積の差異によるコストのばらつきが出ています。

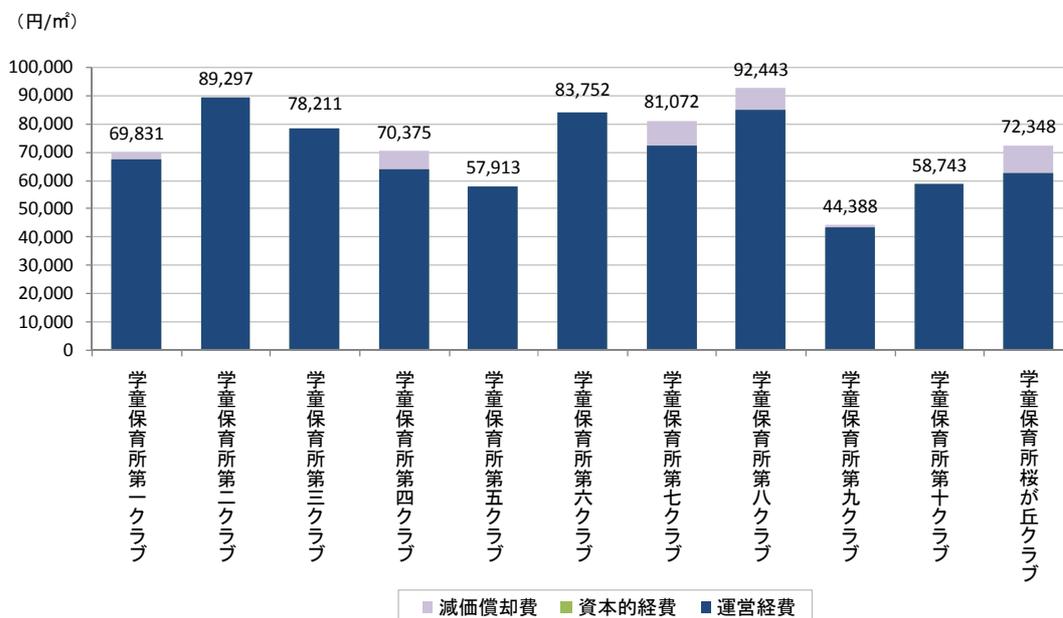


図 3-125 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

学童保育所について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」を比較すると、概ね106,000円/人～206,000円/人前後の水準となっています。



図 3-126 利用者一人あたりコスト(H25年度)

#### (4) その他子育て支援施設

##### ① 施設概要

子ども家庭支援センターは、東大和市子ども家庭支援センター条例に基づき設置しています。子どもや子育て家庭からのあらゆる相談に応じる総合相談窓口で、福祉、保健・医療、教育等の各分野の関係機関と連携しながら、子どもと家庭に関する総合的な支援を行う施設です。

また、一時保育室や子育てひろば事業などの子育て支援サービスの提供により、子どもと子育て家庭の福祉の増進及び子どもを生み育てることができる環境づくりを推進しています。

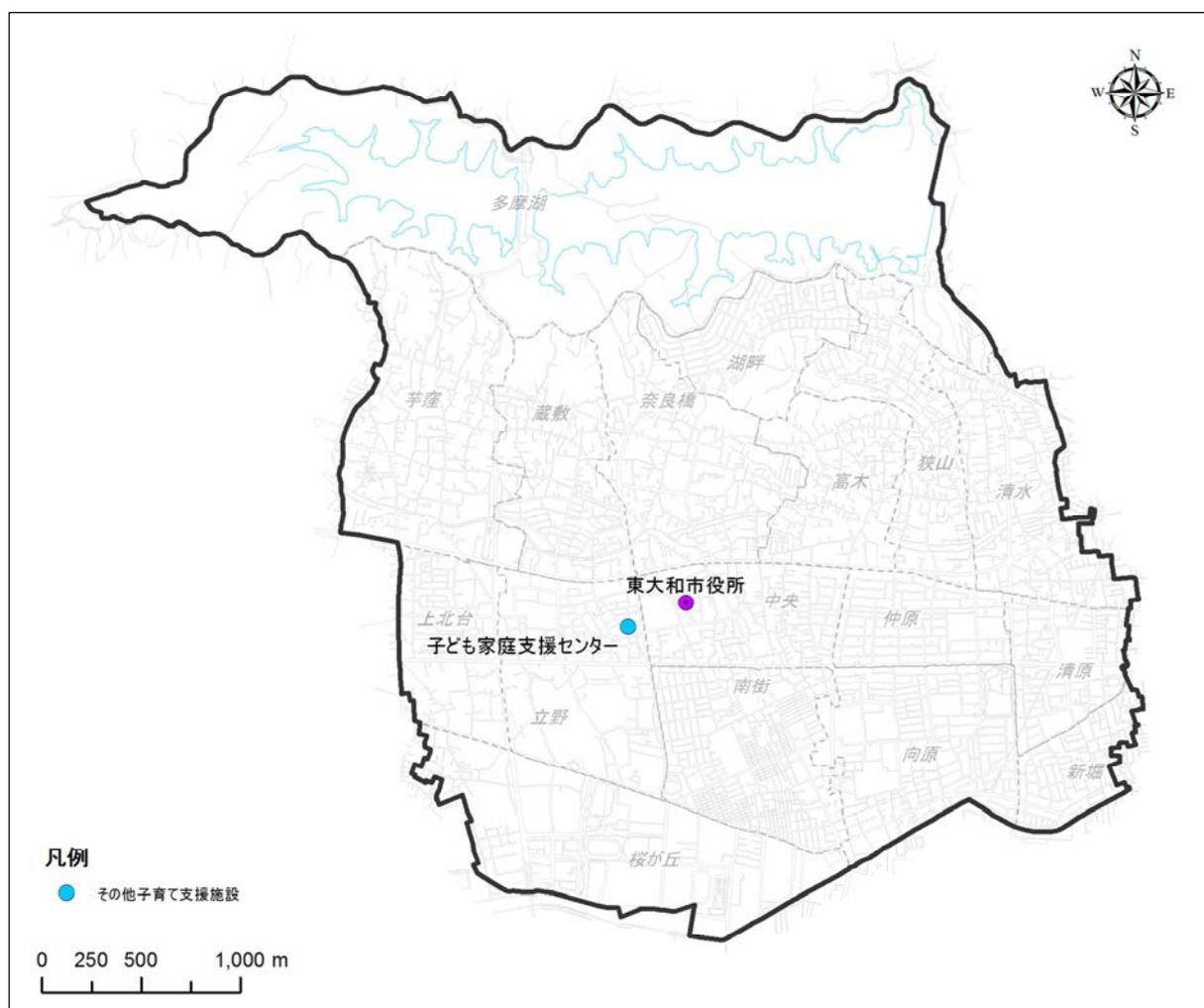


図 3-127 子ども家庭支援センターの配置



③ 利用状況

子ども家庭支援センターの年間延利用者数を平成23年度からの3年間でみると、概ね7千人後半で推移しています。1日あたりの平均利用者数では26人から27人となっています。

表 3-83 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数 (人)	開所日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開所日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開所日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)
子ども家庭支援センター	7,773	295	27	7,949	294	27	7,709	296	26

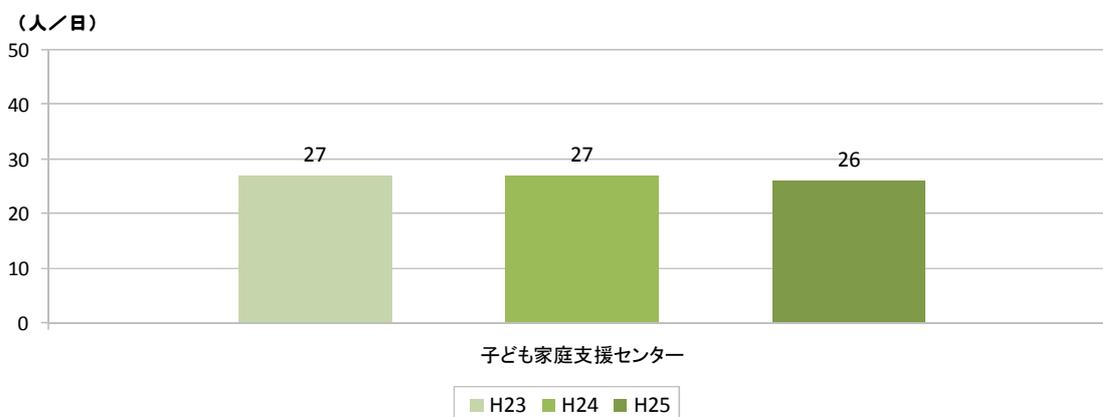


図 3-129 1日あたりの利用者の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

子ども家庭支援センターのコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。

表 3-84 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
子ども家庭支援 センター	H23	26,849	4,763	67,140	0	0	71,903	1,838	73,741
	H24	29,350	5,744	69,400	0	0	75,144	1,838	76,981
	H25	27,295	5,227	71,636	0	0	76,863	1,838	78,701

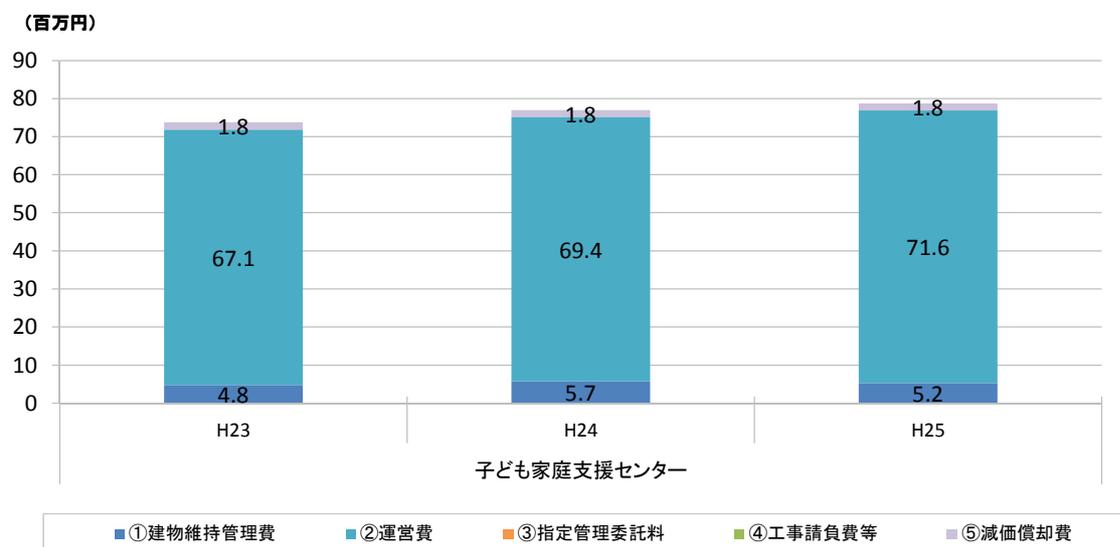


図 3-130 コストの年次推移

イ. 内訳

子ども家庭支援センターについて平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約79.4%を占めています。

表 3-85 コストの内訳(H25年度)

		単位(千円)	
		子ども家庭支援センター	
収入		使用料等	27,295
支出	運営経費	建物維持管理費	
		光熱水費	1,324
		燃料費	0
		修繕料	689
		建物管理委託料	2,179
		使用料及び賃借料	211
		その他経費	825
		計	5,227
		運営費	
		事業運営費	9,130
人件費	62,506		
計	71,636		
	指定管理委託料	0	
	小計	76,863	
	資本的経費(工事請負費等)	0	
	支出計	76,863	
	減価償却費	1,838	
	総コスト(支出+減価償却費)	78,701	
	延床面積	(㎡)	449
	延利用者数	(人)	7,709
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	171,184
	総コスト	(円/㎡)	175,277
一人あたり	運営経費	(円/人)	9,971
	総コスト	(円/人)	10,209

(注1)「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

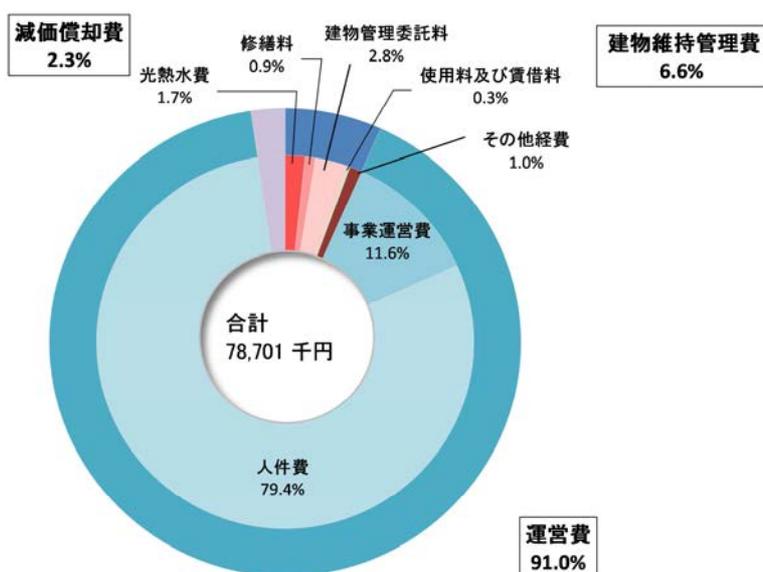


図 3-131 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

子ども家庭支援センターについて平成25年度における「延床面積あたりの総コスト(円/㎡)」をみると、175,277円/㎡となっています。

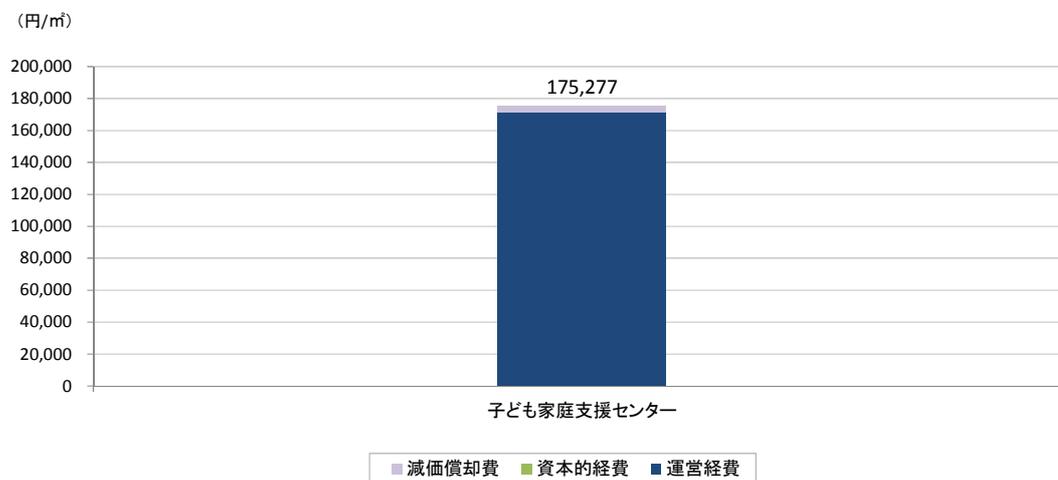


図 3-132 延床面積あたりコスト(H25 年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

子ども家庭支援センターについて平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト(円/人)」をみると、10,209円/人となっています。

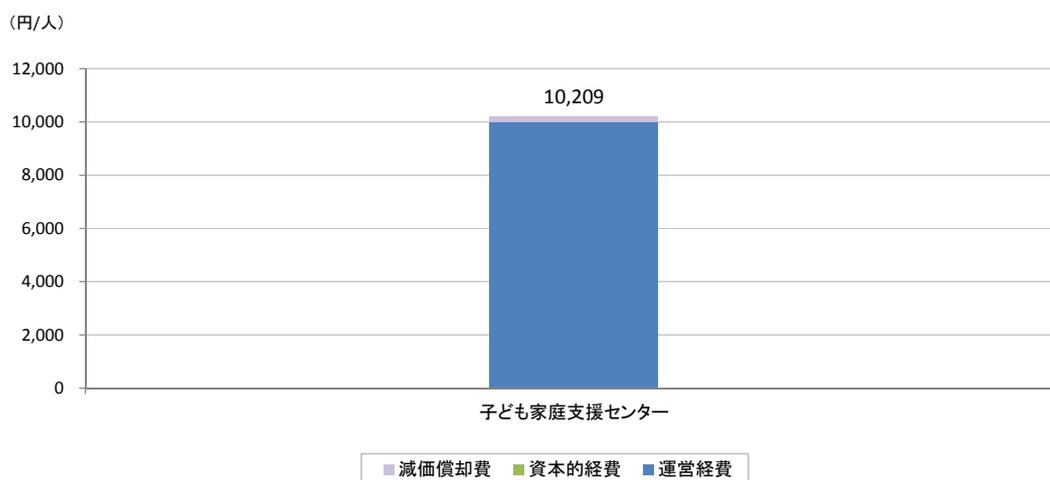


図 3-133 利用者一人あたりコスト(H25 年度)

第6項 保健・福祉施設

(1) 老人福祉館

① 施設概要

老人福祉館は、東大和市立老人福祉施設条例に基づき、老人の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの用に供するために設置しています。

南街老人福祉館以外の施設は、それぞれ市民センター内に設置しています。

利用対象者は市内に居住する60歳以上の方(夜間の団体利用で施設の運営に支障がない場合に限り60歳以上でなくても利用可)で、使用料は原則として無料です。

施設内には、集会室、図書室、教養娯楽室のほか、浴室(お風呂)を設置しています。

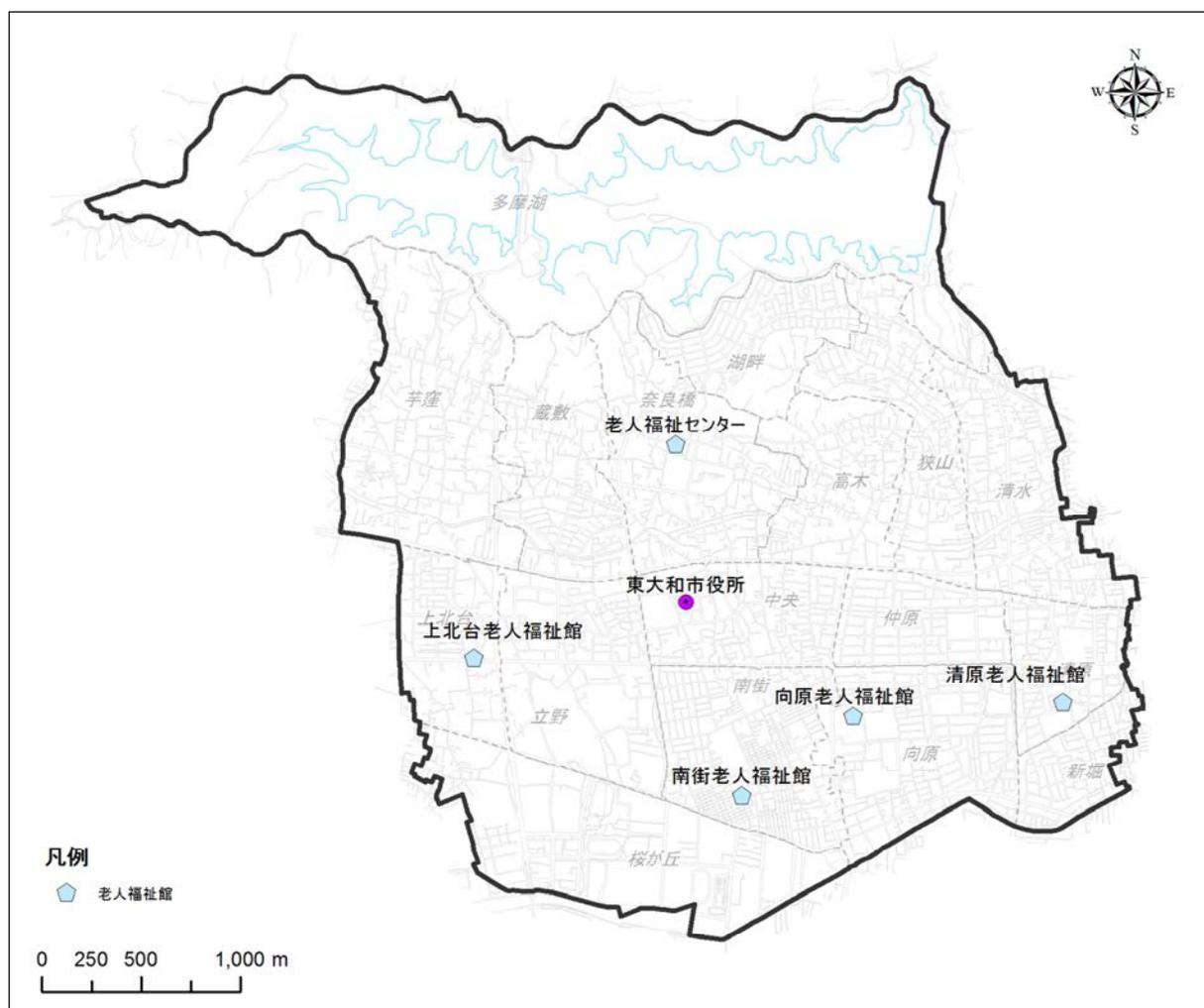


図 3-134 老人福祉館の配置

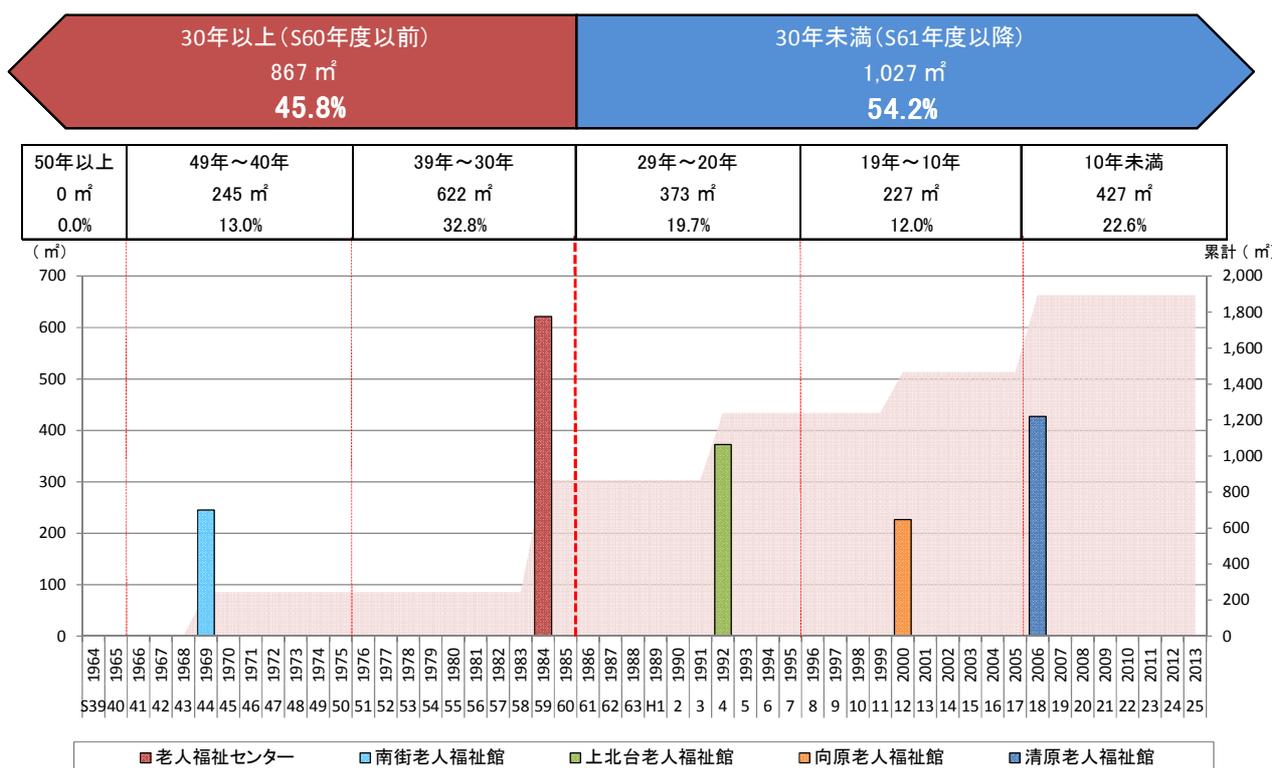
② 建物状況

南街老人福祉館以外の老人福祉館は、市民センター内に設置しています。建物は築30年以上を経過している建物は2か所で、延床面積では全体の45.8%を占めています。南街老人福祉館は昭和44年度に建築されており、建築から46年が経過しています。

老人福祉館の延床面積は、200㎡から400㎡程度ですが、老人福祉センターは最も規模が大きく、622㎡となっています。

表 3-86 建物概要(H25年度末時点)

No.	施設名	所在地	土地		建物		構造	建築年度	備考
			敷地面積(㎡)	所有状況	延床面積(㎡)	所有状況			
1	老人福祉センター	奈良橋4-600	3,041	市	622	市	RC,LGS	1984(S59)	奈良橋市民センター内
2	南街老人福祉館	南街6-30-1	503	市	245	市	LGS	1969(S44)	
3	上北台老人福祉館	上北台2-865-9	1,199	市、民間	373	市	RC	1992(H4)	上北台市民センター内
4	向原老人福祉館	向原3-10	2,706	都	227	借上	RC	2000(H12)	向原市民センター内
5	清原老人福祉館	清原4-1	4,065	都	427	借上	RC	2006(H18)	清原市民センター内
	合計		11,514		1,894				



(注) 老人福祉センター、上北台、向原及び清原老人福祉館の延床面積は、市民センター内で当該施設が占める面積分を示しています。

図 3-135 建築年度別の延床面積の状況(老人福祉館)

③ 利用状況

利用者数は施設によって開きがありますが、向原老人福祉館と清原老人福祉館の利用者数は延べ1万人以上となっています。一方で上北台老人福祉館は7千人前後の利用者数にとどまっています。

平成23年度以降の利用者数は増加傾向にあります。一日あたりの利用者数は、概ね30人前後から40人前後となっています。

表 3-87 利用者数の推移

施設名	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)	延利用者数 (人)	開館日数 (日)	1日あたり 利用者数 (人/日)
老人福祉センター	8,747	299	29	8,646	300	29	8,729	298	29
南街老人福祉館	8,010	301	27	9,402	301	31	9,132	301	30
上北台老人福祉館	6,155	297	21	6,174	299	21	7,330	295	25
向原老人福祉館	10,698	299	36	10,722	300	36	11,293	298	38
清原老人福祉館	11,045	295	37	11,604	295	39	12,544	296	42

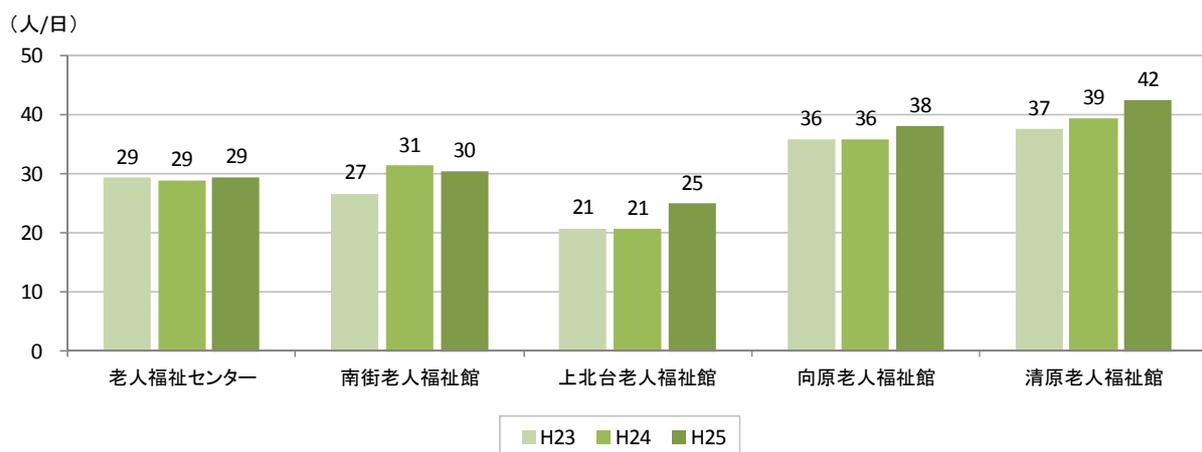


図 3-136 1日あたりの利用者の推移

④ コスト状況

ア. コストの年次比較

南街老人福祉館のコストを平成23年度から3年間の推移で見ると、概ね同水準で推移しています。また前述のとおり、南街老人福祉館以外の施設は複合施設であり、コストの一部のみを施設として負担している状況です。なお、南街老人福祉館は会計上の減価償却期間が満了しているため、総コストの内訳として減価償却費の計上はありません。

表 3-88 コストの年次推移

施設名	年度	収入	支出				支出計	⑤ 減価償却費	総コスト (支出+ 減価償却費)
			① 建物維持 管理費	② 運営費	③ 指定管理 委託料	④ 工事請負費等			
老人福祉センター	H23	0	164	11	0	0	174	0	174
	H24	0	190	12	0	0	202	0	202
	H25	0	190	6	0	0	196	0	196
南街老人福祉館	H23	2	1,651	2,906	0	497	5,054	0	5,054
	H24	0	1,365	2,969	0	0	4,334	0	4,334
	H25	2	1,349	3,058	0	0	4,406	0	4,406
上北台老人福祉館	H23	0	234	903	0	0	1,137	0	1,137
	H24	0	151	823	0	0	974	0	974
	H25	0	217	24	0	0	242	0	242
向原老人福祉館	H23	0	126	18	0	0	144	0	144
	H24	1	126	10	0	0	136	0	136
	H25	1	126	8	0	0	134	0	134
清原老人福祉館	H23	0	0	9	0	0	9	0	9
	H24	1	0	9	0	0	9	0	9
	H25	0	0	17	0	0	17	0	17

(注1) 市民センター内に入っている老人福祉センター及び老人福祉会館のコストについては、老人福祉センター及び老人福祉館の占有部分にかかるコストを計上し、それ以外のコストは各市民センターのコストに計上しています。

(注2) 減価償却費には、会計上の償却期間を満了した建物分（減価償却費0円）は計上されません。

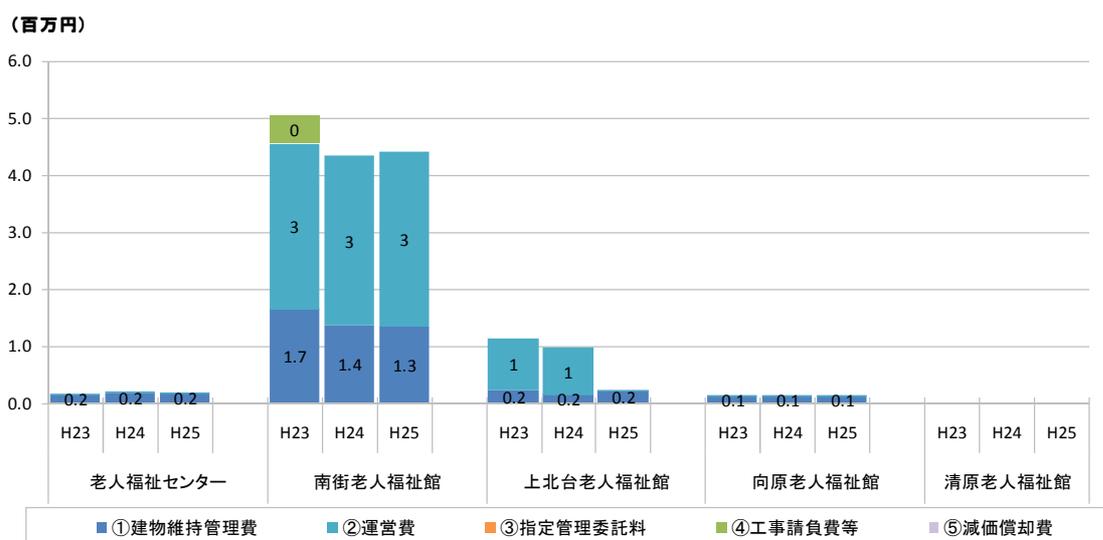


図 3-137 コストの年次推移

イ. 内訳

南街老人福祉館について平成25年度における内訳をみると、運営経費における主な支出項目は人件費であり、施設全体の約36.7%を占めています。

南街老人福祉館以外の施設は、各市民センター内に設置しているため、占用部分にかかるコストを計上しています。

表 3-89 コストの内訳(H25年度)

		単位(千円)							
		老人福祉センター	南街老人福祉館	上北台老人福祉館	向原老人福祉館	清原老人福祉館	合計		
収入	使用料等	0	2	0	1	0	3		
支出	運営経費	建物維持管理費	光熱水費	0	826	0	0	0	826
			燃料費	0	11	0	0	0	11
			修繕料	0	45	66	0	0	111
			建物管理委託料	190	436	151	126	0	903
			使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
			その他経費	0	32	0	0	0	32
		計	190	1,349	217	126	0	1,882	
	運営費	事業運営費	6	1,224	24	8	17	1,280	
		人件費	0	1,834	0	0	0	1,834	
		計	6	3,058	24	8	17	3,113	
	指定管理委託料	0	0	0	0	0	0		
	小計	196	4,406	242	134	17	4,995		
	資本的経費(工事請負費等)	0	0	0	0	0	0		
	支出計	196	4,406	242	134	17	4,995		
	減価償却費	0	0	0	0	0	0		
	総コスト(支出+減価償却費)	196	4,406	242	134	17	4,995		

延床面積	(㎡)	622	245	373	227	427	1,894	
年間利用者数	(人)	8,729	9,132	7,330	11,293	12,544	49,028	
面積あたり	運営経費	(円/㎡)	315	17,964	649	592	41	2,638
	総コスト	(円/㎡)	315	17,964	649	592	41	2,638
一人あたり	運営経費	(円/人)	22	482	33	12	1	102
	総コスト	(円/人)	22	482	33	12	1	102

- (注1) 市民センター内に入っている老人福祉センター及び老人福祉館のコストについては、老人福祉センター及び老人福祉館の占用部分にかかるコストを計上し、それ以外のコストは各市民センターのコストに計上しています。
- (注2) 減価償却費には、会計上の償却期間を満了した建物分(減価償却費0円)は計上されません。
- (注3) 「面積あたりの運営経費及び総コスト(円/㎡)」、「一人あたりの運営経費及び総コスト(円/人)」の算出においては、経費の数値は1円単位までの値を使用しているため、表中に表記された値(千円単位)を使用した場合は1円~50円程度の差があります。

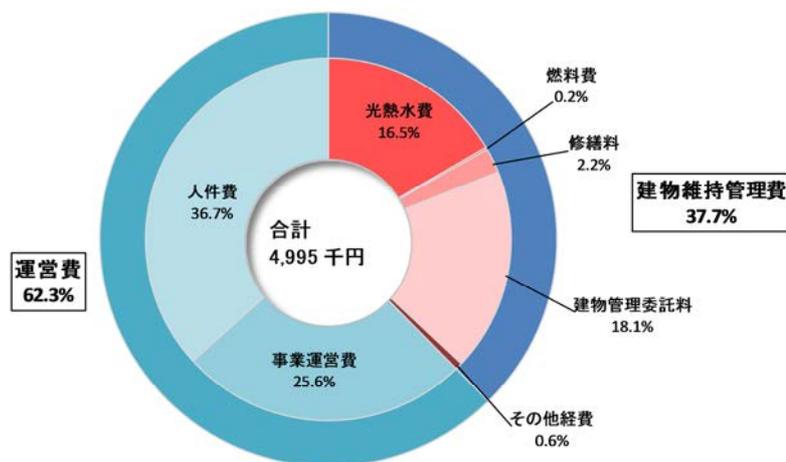


図 3-138 コストの内訳(H25年度)

### ウ. 延床面積あたりコスト

南街老人福祉館について平成25年度における「延床面積あたりの総コスト（円/㎡）」をみると17,964円/㎡となっています。

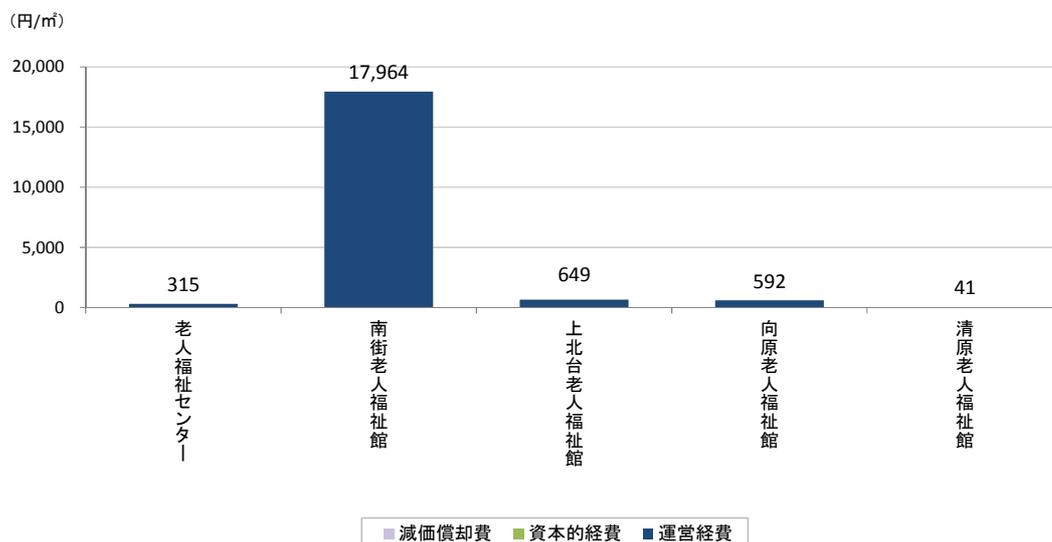


図 3-139 延床面積あたりコスト(H25年度)

### エ. 利用者一人あたりコスト

南街老人福祉館について平成25年度における「利用者一人あたりの総コスト（円/人）」をみると、482円/人となっています。

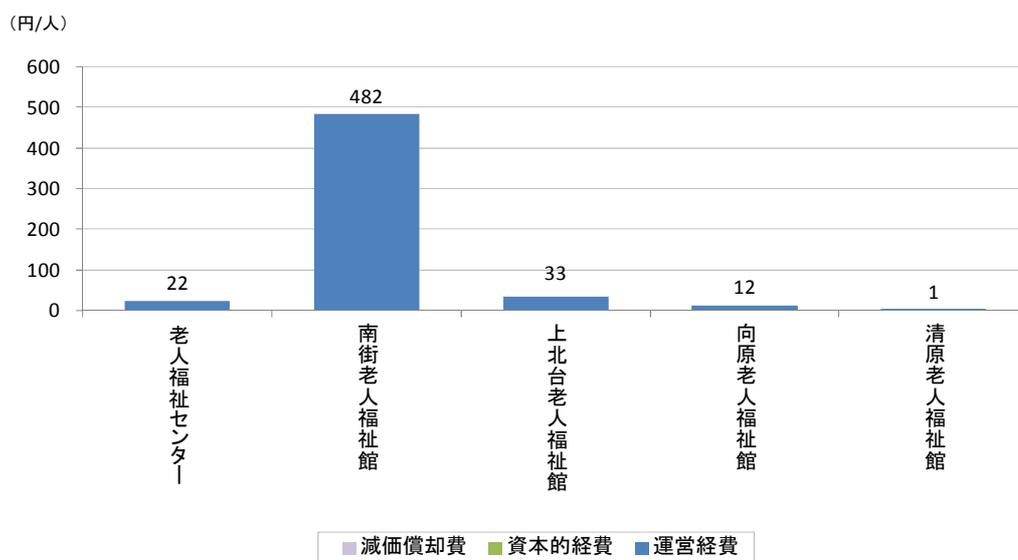


図 3-140 利用者一人あたりコスト(H25年度)